

国立国語研究所学術情報リポジトリ

北奥方言の動詞のアクセント資料(2)

著者	上野 善道
雑誌名	国立国語研究所論集
号	18
ページ	35-75
発行年	2020-01
URL	http://doi.org/10.15084/00002541

北奥方言の動詞のアクセント資料 (2)

上野善道

東京大学名誉教授／国立国語研究所 理論・構造研究系 客員教授 [–2015.03]／
国立国語研究所 共同研究員

要旨

岩手県と青森県の、旧南部・津軽両藩の6地点で調査をした北奥方言動詞のアクセント報告の続稿として、4～7拍動詞の374語を対象とする。基本は無核型と次末核型の2つからなるが、動詞の全体としてはn拍到n個の区別があるアクセント体系である。3拍までの基本的な動詞35語について、それぞれ8つの活用形のアクセント資料も掲げ、その地域差も指摘する*。

キーワード：北奥方言、南部方言、津軽方言、動詞、アクセント

1. 地点・話者情報ならびに語形・アクセント・関連情報

地点・話者情報は前稿の上野(2019)と重複するが、(1)に再掲する。(弘前は、前回同様、両氏をまとめて掲げる。雫石の母は最後の入院中で同一活用形調査票による調査はできなかった。)

語形・アクセント・関連情報は、一部は省略ないし簡略化し、一部は補足をしながら(2)に示す。

(1) 地点	話者	生年
岩手県盛岡市八幡町 ^{はちまんちょう}	中谷真也氏 ^{なかやしんや}	1929年生まれ
岩手県雫石町下町 ^{しずくいしまちしもまち}	(故)上野ゑみ(母)	1926年生まれ
同上(内省資料)	上野善道	1946年生まれ
青森県八戸市鮫町 ^{はちのへ さめまち}	榎谷伸夫氏 ^{まさやのぶお}	1948年生まれ
青森県下北郡風間浦村 ^{かざまうらむら}	越膳昌子氏 ^{えちぜんまさこ}	1953年生まれ 以上, 旧南部藩
青森県弘前市 ^{ひろさき}	小山内溶子氏 ^{おさないようこ}	1951年生まれ 以下, 旧津軽藩
同上	鳴海春輝氏 ^{なるみはるき}	1952年生まれ
青森県五所川原市 ^{ごしょがわら}	千葉涼子氏 ^{ちやうこ}	1950年生まれ

- (2) ʔ, ʔp などの ʔ: 前鼻音化要素。この有無は弁別性がある。ただし、青森側は時に脱落する。
ng: 鼻濁音(ガ行鼻音 ŋ で、標準語の発音でも例外なく出る。ʔg はない。N はンで別)。

* ご教示下さった話者の皆さんに厚く御礼を申し上げる。本稿はJSPS 科学研究費 19H00530 (代表者：窪蘭晴夫) による研究成果の一部である。同時に、国立国語研究所共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」(プロジェクトリーダー：窪蘭晴夫)、並びに「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(プロジェクトリーダー：木部暢子)の研究成果も兼ねる。査読者からの指摘で一部表現を改めた。不統一を指摘してくれた編集委員にも感謝する。

c: ツの破擦音子音。ca はツァ, cja はチャ。

E: 広いエ。(私は e に統合している。青森側の話者でも時に E を記録してはあるが, 岩手側の高齢層のように固定化しておらず, 対立はないと見て e にした。しかし, 「転ぶ・倒れる」意のオッケアルなどは小さなアがあるような気がするという話者がおり, 前稿では校正段階で一部を E に直した。-ai, -ae に対応する箇所は再検討が必要かもしれない。)

中舌母音: 表記せず, 私自身のス, ツ, ズを基準にした聴覚的な判断を中心に適宜 si, su; ci, cu; zi, zu のいずれかに割り振った。(当該地域では, 元は対立を失い, 若干の方言差を伴いつつも仮名ではス, ツ, ズとまとめられる音声になっていたと考えられるが, 今や全員が標準語の発音もできる時代で, 方言生活や語りにもそれが反映しており, 現実には種々の程度に標準語化したシ, チ, ジの音声も混じる。そのため, 子音の前鼻音性, 有声性, 鼻濁音に比して綿密な書き分けは意図しなかった。私の場合はス, ツ, ズに合流——さらにはニとヌもヌに, リとルもほとんどル¹に合流——しているが, 直後にタ・テ・トが続く環境に限り, シは標準語と同じ sjita 0 (した, 下), kasjite 0 (貸して) 等となる。suta, kasute は, 以前は年寄り相手には用いたが, 同世代にはわざと方言化している感じで不自然である。こういう場合に限り sji とした。しかし, cutta 0 (散った), zuteNsja 2 (自転車) などはおかしくない。)

語頭のイ: 微妙なケースも多いが, 話者が自ら「エ」と報告したもの以外は i とした。(これに関しても, 上記と似た状況にある。内省を聞くと「要る」はイで, 「要らない」はエみたいだが, ちゃんとしたエとも違う」というような反応が返って来る。私の場合は標準語のイは中舌のイに統一されており, 一部, 「偉い」までも親世代の erE の両母音の違いを反映させた上で ire となっている。なお, 語頭以外でも, toraeru (取られる) など, -Vre- > -Ve- の変化が起こっており——その条件は時制や文体も絡んで極めて複雑——, その -Ve- の後半は仮名ではイと書きたいとする話者がいる。実際, その -ae/-ai, -oe/-oi の対立はおそらくなく, 最後の母音は -e よりも狭いが, 「寂れる, 痺れる」などの -bie- では直前の i よりも若干広めで中舌性も弱いと見たので, 本稿では基本的に e で表記した。)

<m>: 稀。見出し語形は稀でもアクセントが得られた場合は記し, 日常語形を () に入れた。

<n>: 新。新しい単語・用法。

<o>: 古。古い用法, 古老が用いていた用法。(私の場合は, 主に祖父母が使っていたと記憶し, 自らも年寄り相手には使った形。ただし, E は e にし, 語頭のイは中舌のイで発音。)

x: 使わない意。その直後の語形は使わない意のときは, 語形との区別のために <x> とする。

<聞>: 自分では使わないが聞くことはある形。多くはその周辺地域のもの。

¹ 前稿 (2019a: 118) 「終わる」の零石 (内省) 欄に「0 (名詞は owari 2)」としたのは標準語形を書いたもので, 「0 (名詞は owaru 2)」の誤り。動詞と名詞でアクセントのみが異なるのが正しい。

<普>：こちらの方が普通，普段よく用いる形。

(OK)：私が観察・記録した限りにおいて，これで可（入力ミスにあらず）。

[：昇り核。語頭から数えた（丸付き）数字も用いる。マイナス表記は語末から数えた場合。

=：（音形の直後に付けた場合）無核型の印。[がないことの明示。表では0，本文では①も。

_：アクセント単位の切れ目。数字のアクセント表記では0+1のように「+」が対応する。

<：その右側の形から変化。>はその反対。

2. 動詞のアクセント体系

表1に前稿の続きとして4～7拍動詞の資料を掲げる。前稿を含むその資料に基づき，まずは北奥方言の動詞のアクセント体系を簡単にまとめる。基本は無核型（①）と後ろから2拍目に昇り核をもつ次末核型（-②）の2つからなり，金田一の類との対応も，細かい例外は別として，第1類が無核型，第2類が次末核型に対応する。類別語彙以外でも，日常語は概ね東京方言と一致するが，複合動詞，および（生産的に使う方言での）可能動詞は有核型になる。

注意を引くのは，「構える，揃える」など，前次末・次末が -ae, -oe の連母音の場合にはほとんど ka[maeru, so[roeru (核表示) など前次末核型（-③）になり，それが日常語の場合は「押さえる (o[sjEru, o[s(j)eru), 覚える (o[ˈberu)」など，母音の融合を起こして次末核型で出る点である。その一方で，これらを soro[eru 等とする地域も弘前を中心に青森県にはある。しかしながら，可能動詞の「使える」は融合を起こさず，かつ（八戸を除き）cuka[eru で，「支える」の cu[kaeru と区別される。これを活用させても，可能動詞の核の位置は cuka[ene などで一貫するのに対して，一般動詞は否定形が cukae[ne などと核の位置が交替する。前稿3拍語の「和える，冴える，やれる (jaeru の形)，冷える，増える」などは（五所川原を除き）②型であるのに対して，「返す，帰る；入る，参る」は，母音融合しない場合でも，弘前も含めてすべて語頭に核のある①型で出る。従って，地域差はありながらも，連母音環境でも次末核型と前次末核型とは対立する。

その中にあって五所川原だけは「和える ([aeru)，冴える ([saeru)，晴れる ([haeru)，冷える ([hieru)；思える (o[moeru)，破れる (ja[ˈbueru)，痺れる (si[ˈbieru)」など，連母音の配列を問わず規則的に前次末拍に核がくる（可能動詞は稀）。しかし，この環境での対立がなくても，前次末核型 ke[toˈbasu (蹴飛ばす) と次末核型 ungo[gasu (動かす) の対立は明瞭である。

複合動詞まで範囲を拡大し，さらに受身形由来のものまで見ると，特に岩手方言を中心に，音韻条件によらずに次末核型以外の有核型を取る語例が見つかる。5拍語までを(3)に示す。今回の調査外の項目で私の方言にあるものを「;」の後に付け加える。次末核型の併用形注記は省く。

- (3) 4拍 ①型：ほき出す ([hogiˈdasu)，やられる ([jaraeru)，反り返る ([sorugeru)，取り除ける ([tonogeru < [toNnogeru)；kamageru (ひっくり返す)
 ②型：蹴飛ばす (ke[toˈbasu)，出かける (de[gageru)，跳ね回る (ha[nemaru)，ひしげる (hi[sjangeru)；ki[nanguru (切る < 切りなぐる)，ku[cjangeru (食いつく < 食い下がる)，ku[cjaˈberu (べらべらしゃべる < 食いしゃべる?)，ta[mozugu (掴まる)，

to[tẽdasu (取り出す<取って出す), ha[nesjaru (跳ね退く<跳ね去る)

- 5 拍 ①型：かつ食らう ([kakkurau]; [kaNmageru (ひっくり返す, かん撒ける), [kogicukau (こき使う), [sakku~beru (差つくべる), [deccumaru (出詰まる = 大小便が漏れそうになる), [jaccukeru (やっつける)
- ②型：恐れ入る (o[soreiru), 思い切る (o[moikiru), 思い出す (o[moi~dasu), 叩き割る (ta[dagiwaru), 干からびる (hi[kara~biru); ha[necukeru (撥ね付ける), hu[tacukeru (殴る, 叩く), bu[tacukeru (ぶっ叩く), bu[rasangeru (ぶら下げる), bu[rasangaru (ぶら下がる)
- ③型：搔っ払う (kap[parau), 蹴っ飛ばす (ket[to~basu), 酔っ払う (jop[parau); kac[carau (かつさらう), kat[to~basu (かつ飛ばす), top[pa~zusu (取っ外す), top[parau (取っ払う), tot[tẽdasu (取り出す<取って出す), hac[cjangeru (跳ね上げる), hac[cjangaru (跳ね上がる), huc[cjageru, buc[cjageru (ぶち裂ける), hut[to~basu (吹っ飛ばす), buk[kamasu (ぶっかます), but[to~basu (ぶっ飛ばす), buN[nanguru (ぶん殴る), buN[nangeru (ぶん投げる) 等。

すべて強意的な動詞で、複合動詞は前部要素が有核型のものばかりである。自明なものは除くとして, [hogi~dasu の前部要素は単独では使わないが, 仮に言えば①型である。おそらく [hagu (吐く) から転じたものであろうが, 「ほき出す」は東京方言や八丈方言にもある形である。「吐き出す」なら「掃き出す」と同じく hagi[~dasu である。hu[tacukeru (叩く) は語構成がはっきりしないが, より強い bu[tacukeru もあることから, 「打つ, ぶつ」①との関連が考えられる。「裂ける」の強調形 huc[cjageru, buc[cjageru も参照。bu[rasangeru, bu[rasangaru は複合動詞ではなく, 「ぶらり」を強調したものであろう。

一方, [jaraeru は, 無核型「やる」からの派生としては核の有無の例外となるが, 強意の受身動詞として独立したもので, 殴られるなどの他, 先手を打たれた, 意表をつかれたときの「しまった」の意味でも用いる。ja[raeru もあるが, [jaraeru の方がより表現性が強い (私は ja[rareru は不自然で, [jarareru なら許容)。ja[raeru は風間浦にもある (他地域は無核型)。なお, 使役の「やらせる」は, どの地域でも無核型のままである。次に, [jaccukeru も「やりつける」由来では例外であるが, 相手を打ち負かす, ひどい目に遭わせるといふ, やはり強意によるもので, 通常の「仕事を~」なら jaccu[keru である。また, やり慣れる意なら jarucu[keru, <o>jaruzu[geru である。

前次末より前に核がある (3) の単語は, 活用させても核の位置は動かない点でも特異である。[jaccukeru の否定形は [jaccukene であるが, jaccu[keru の否定形は jaccuke[ne と核が動く。次末核 (および音韻条件が関与する「揃える」so[roeru などの前次末核) とは異なることが分かる。

さて, 1 拍語には無核型の su= (する) と [ku (食う) があることも踏まえて 5 拍語までをまとめると, 末核を除く $P_n = n$ の体系となる ([ku は外見上は末核のように見えるが, こししか核の担い手がいないためである)。5 拍語以上はほとんどが複合動詞になって無核型は少なくなるが, それでも (4) などがある。標準語的な単語まで含めれば, omoNzuru= (重んずる) もある (「重

んじる」だと omoN[zuru)。そして、6 拍語でも同じ枠組みで、(5) のように 6 つの型が揃う。

- (4) 5 拍語無核型: agongareru = (憧れる), una~dareru = (うなだれる), unu~boreru = (自惚れる), sjo~bokureru = (しょぼくれる), aomugeru = (仰向ける。aomu[geru だと可能動詞) 等。
- (5) 6 拍語動詞の体系: [keccuma~zugu (蹴っ躓く), ta[dagicukeru (叩き付ける), jot[tagureru (酔っ払う), haccu[ragasu (はっ散らかす。hac[curagasu, [haccuragasu とも), hippari[komu, hippari[gomu (引っ張り込む), agaccjageru = (赤っ茶ける)。

岩手側に比べて青森側にはこのタイプは少ないものの、たとえば五所川原には ke[to~basu (蹴飛ばす), ha[nemawaru (跳ね回る), si[kara~biru (干からびる) などがあり、上野 (1986) の青森市では [sorigaeru (反り返る), hi[keragasu (ひけらかす) などが得られている。

3. 単語アクセントを中心とする地域差

ここでは、表 1 ならびに前稿の資料に基づき、核の有無と位置から見た動詞の単語アクセントにおける地域差を見る。地点数が多くなく、話者も原則一人である以上、あくまでも得られたデータの範囲内での巨視的なものとなる。以下、地域的な対立は「//」の記号で示す。

もっとも、分布パターンが明らかになっても、個別の単語アクセントの場合は、強意動詞を除けば無核型か次末核型かの二者択一であり、日常語彙か否かや意味も関与するので、そこから歴史まで推定できるのは一部にとどまる。この点で、次節の活用形アクセントが八戸の状態をもってほぼ祖体系と推定できるのとは異なる。「織る」は雫石の高齢層のみが伝統的と見られる無核型である等の個別の細部にも踏み込まない。なお、アクセントに触れた後、他の地域差も見る。

まず、調査をした限りの県境で分かれるものに (6) がある。境界地域にある雫石の私が両形を併用している場合も、母の資料の方を重視してこのタイプに入れた。音韻条件に関わる広義の変種はまとめ、一部「x」(その不在)を含み得る(以下同様)。Cf. 以下は青森県内に 1 地点ずつ例外のある項目で、厳密には県境パターンに属さないが、準ずるものとして参考までに挙げておく。

(6) 岩手 // 青森県境で分かれるアクセント

結う (0//1); 飾る (2//0), 手繰る (2//0); 呆れる (3//0), 溢れる* (0//3), 減びる (0//3), 報いる* (0//3), 集める (0//3), 信じる (0//3), ほやける (0//3), 集まる (0//3), とどまる (0//3); 思い切る (2//4), 思い出す (2//4), 蹴っ飛ばす (3//4), 叩き割る (2//4)。
Cf. 落ち着く (0//3, 弘前 0), 認める (3//0, 風間浦 3), やられる (2//0, 風間浦 2)。

*を付けた 2 項目は、母は①型であるが、私は③型である。「溢れる」は(普段接触のない青森側ではなく)標準語の影響を受けたもの、「報いる」は派生名詞の mugui= から判断して稀用語ゆえの③型と見て、本来は県境で分かれていたものと処理した。最初の例「結う」の青森側は、各種の方言形が存在から見て本来語ではなく、前稿 (2019: 103) の岩手側の「産む」の①型と同様、借用語のアクセントと考える。なお、「飾る②; 呆れる, 認める (ともに③), 集める,

集まる, ほやける, とどまる (いずれも⑩)」は私にとって標準語アクセントへの切り換えに苦勞する単語で, 意識過剰のあまり「集める, 集まる」に音配列の似た無核型の「まとめる, まとまる」まで③型で言い兼ねないほどである。「思い切る」以下は, 前節の強意動詞の例に当たる。

アクセント以外の特徴に関して県境で分かれるものに (7) がある。

(7) 岩手 // 青森県境で分かれるアクセント以外の特徴

「ほき出す」[hogi-dasu/x, 「燻る」の ju[-buru/i[-buru, 「茹だる」の u[-daru/ju[-daru (ただし, 私は ju-, 八戸は併用), 「砕く」を《お金を崩す》意味で使わない // 使う。

次に, 岩手側に八戸まで含めたところがアクセントの境界になるのが (8) である (五所川原に一部例外あり)。

(8) 岩手県・八戸 // 風間浦・津軽型: 「廢れる, ふざける, つまずく (いずれも 0//3)」

八戸と風間浦が一致, すなわち青森県の旧南部藩がまとまり, その両端 (岩手県と旧津軽藩) が異なるアクセントというパターンもある。「八戸・風間浦 // 他」の形で (9) に示す。

(9) 八戸・風間浦 // 他型: 「絡^{から}げる (0.-g-//3.-ng-); 萎^{しお}れる, 寝ぼける, のろける, べたつく (いずれも 3//0)」

岩手側と五所川原が離れていながら一致し, 残る八戸・風間浦・弘前が別に一致するタイプに「蹴飛ばす (2//3)」がある。岩手側と五所川原の一致にのみ着目し, それ以外にはこだわらずに「他」とすると, 「跳ね回る, 干からびる (ともに 2// 他)」も該当する。いずれも, 2 節の末尾で触れた, 次末以前に核がくる例が五所川原にあることに関連する現象である。

五所川原と弘前が一緒になって盛岡と一致し, 他と異なるのが (10) である。名詞の「向き①」と関連する可能性があるので取り上げた。ただし, 盛岡・弘前は方向, 適性とも①型であるが, 五所川原は方向だけが①で, 適性は⑩型であり, 盛岡も命令形は無核型の muge² であること, 「向かう」は全域無核型であることが気にはなる。盛岡と五所川原のみが一致する「括る (2//0)」は孤例で, 新語ゆえの一致か。盛岡・雫石と五所川原が一致する「heru = (入れる)」もある。

(10) 盛岡・津軽 (弘前・五所川原) // 他型: 「向く」(1//0), 「熟す」の語形 zjugu[reru/x

なお, (10) のどちらも盛岡の隣の雫石では使わない。zjugu[reru は盛岡人が言うのを最初に耳にしたときは, 「熟^うれる」の漢字の個人的な読み間違いかと思ったほどである。なお, 『日本方言大辞典』によれば, この形は山形県にもあるという。

その他のパターンとして, 青森県内の 2 か所がまとまる (11) と (12) がある。

(11) 八戸・弘前 // 他型: 「抱える, 支える, 捧げる, 見通す, やらかす (いずれも 0//3)」

² 前稿 (2019a: 108) 「向く」の盛岡欄「(... 命令形は muge 2)」は「(... 命令形は muge 0)」と訂正。(OK) まですべて書いておきながら, 1 ではないとの意識だけが強過ぎて, つい 2 としてしまった。

(12) 風間浦・弘前 // 他型: 「とはける, 頑張る (ともに 3/0)」

ところが, 南部 // 津軽の旧藩境で分かれる単語アクセントの例は, 予想に反し, 今回の調査範囲では見当たらなかった。もとより音調型ではなく, アクセント核の有無と位置に関してのことである。ただし, 形容詞には 1 例だけであるが, 「あやしい」(0/3) がある (上野 2019b)。

アクセント以外では, 旧藩境で分かれるものとして (13) がある。なお, 「浮く (ugiru=)」も前号の資料からは南部専用と見えるが, 上野 (1986: 4, 28) では, 青森市 (の周辺部) にも ugiru= を記録している。また, Cf. の後は, 津軽全体ではなく, 五所川原だけがそれを用いない例である。

(13) 南部 // 津軽の旧藩境で分かれるアクセント以外の特徴

飼 う ([kau, karu//ta[deru), (髪を) 梳 かす (ke~zuru= 他 //ha~da[geru), 歩 く (a[rugu, a[rigu//a[sagu), 走る (ha[sjeru, ha[heru//hak[keru), 目を覚ます (o~do[rogu//o~do[garu); 言う ([sou, [heru//x), 腐 る (kusa[reru, kusarera[gasu//x), 着 飾 る (mo[jou, mo[joru//x)。
Cf. 伝染^うる (u[zugu// 五所 x)。

本節の終わりに雫石にのみ出てきたものを取り上げると, 「出かける (de[gageru)」の②型, 「濁る」の me[nguru (『日本方言大辞典』によれば秋田にもある由), そして「いじめる」の意味・用法がある。最後の例は《厳しく躰る, 鍛える, 叱る》意で, 昔はよく親が担任に orahono=wara[su i~zu[mede kunaN[se. (うちの子供をいじめて下さい=遠慮することなく厳しく教育して下さい) と頼んだものである。この意味をもたない盛岡人との間で誤解が生じた例が実際にある。

4. 活用形のアクセントとその地域差

表 2 に活用形資料を示す。調査に当たり, 連体形以外は, 原則として後続要素のない単独形に基づいてその型を判断した。終止形と連体形はほとんどの場合に一致するが, 一部にアクセントの併用の有無の差 (盛岡) や, 「する」の終止形は su=, suru= がともにあるが連体形は suru= のみという例 (八戸) があるので, すべてを掲げる。「出る」の方言形「出張る」の活用形は一部でしか聞いていないが, 他の動詞とアクセントが異なる点があるので掲げる。「会う」に対する「行き会う」は 4 拍動詞の例として取り上げる。私自身の方言で, 似た形でありながら活用形とアクセントに注目すべき点のあるものも追記した。項目の右上に * を付した「出来るな, 出来る」はまず使わないが, 一部では意志動詞の「起きる」に代えたものの, 他では適宜省いた (30 年以上前に作った調査票で, 作成時にこれを入れた意図は, 今となっては不明)。

以下, 主要な方言差を見ていくが, ここでも核の有無と位置のみをその対象とする。

4.1 無核動詞

比較的単純な無核動詞から始める。終止形が無核の動詞は, 活用形も無核型が原則で, 禁止形と命令形のみが異なる。無核動詞の**禁止形**は, 「着るな」の kiru[na に対する (kiru[na > kiN[na >)

ki[na などの語形の違いはあっても最後のナに核がくる。ただし、八戸のみ、ナの一つ前に核がくる（平山輝男編 1982: 103 に指摘あり）点で他地域と異なる。[suna, su[runa（するな）]がその典型である。弘前では、karu（買う）でも、ナは元の終止形のまま kau[na となる（これは、有核動詞「払う」の ha[raru と ha[rauna にも当てはまる）。なお、雫石の私の場合、無核動詞の禁止形は無核型でもおかしくなくなっている。

命令形は、男女による語形の違いが青森県側から得られている。風間浦村では、1 段・5 段を問わず、通常の命令形は男性の使う形で、女性は -se に終わる別の形を使う³。五所川原では、1 段動詞の -ro は乱暴な感じがして女性は使いにくく、-re を用いるという。他地域の女性話者でも、類似の違いがありながら、調査項目に合わせて裸の命令形で答えたケースもあるかもしれない。男女差ではないが、盛岡では剥き出しの命令形は好まず、たとえば「見ろ」の代わりに、テ形の [mide/mi[de（見て）]の後に ke[ro, ke[de, kunaN[se, ugu[re（くれろ、くれて、ください、おくれ）]などを続けて用いるというが、表にはあえて裸の命令形を聞いて掲げた。かつて東京人が「命令形は文法書で見るだけで、日常生活で使う場面が想像できない」と言っていたことを思い出すが、私の雫石方言では、ha[jagu gakkosa= ige=.（早く学校に行け）]などが特に違和感もなく用いられる。

その命令形のアクセントは、無核動詞の場合、旧南部藩では風間浦の女性形も含め、すべて無核で一貫するが、旧津軽藩では、弘前はその語末に核がくるし、五所川原では、男女形の違いも含めて、すべて無核型が基本だが、2 拍語と 3 拍 1 段動詞では語末に核のくる型との併用である（音調は u[re と u[re]]）。津軽の例ではイントネーションの被さりも考慮すべきかもしれない。

4.2 有核動詞

複雑な有核動詞に移る。地域や活用のタイプにかかわらず一貫して当てはまるのは禁止形と否定形である。**禁止形**は、[deru（出る）]に対して [deruna と ([deruna > [deNna >] [dena の違いはあっても、終止形の核の位置をそのまま保つ。**否定形**は、[toru（取る）]に対して tora[nE であれ、(tora[ne > *toN[ne >] to[ne であれ、すべて最後の -[nE]/-[ne（標準語的な発音では -[nai]）]に核がくる（例外は、盛岡と雫石の「入る」の [hEranE]/[herane と、雫石の「出る」の de[harane の併用例のみ）。

これら以外の活用形は、種々の場合分けをしなければならない。まず**命令形**であるが、津軽（弘前・五所川原）は、de[ro, de[re（出ろ）、da[se, da[he（出せ）、tade[ro, tade[re（建てろ）、hara[e, hara[re（払え）、hai[re, ha[re（入れ）]など、語形を問わずすべて語末に核がくる（「来る」の [koi も、否定形の -[nai] と同様、音形の制約によるもので、これに準ずる）。

次に、風間浦の命令形は、女性形はすべて最後が -[se になるが、男性形はすべて終止形と同じ位置に核がくる。そのため、mi[se; [miro（見ろ）、kaga[se; [kage（書け）、tade[se; ta[dero（建てろ）、deha[se; de[hare（出張れ）、ojonga[se; o[jonge（泳げ）、he[se; [here（入れ）]などとなる。

そして、この終止形と同じ核の位置をもつ男性形のアクセントは、残るすべての地域（八戸・

³ 此島正年（1965: 58）に（風間浦には特に触れていないものの）下北方言の -se 形への言及があり、読マセ、見セ、カセ（来る）の 3 例が語末の下降調音調とともに出ている。

雫石・盛岡)に共通する。その結果、有核動詞命令形は旧藩を境に南部//津軽ですべて異なる。

[miro//mi[ro, [ae//a[e, [jome//jo[me, ta[dero//tade[ro, ta[nome//tano[me, de[hare//deha[re (出る), [here//ha[re (入れ) などである (その可能性のない「来い」①を除く)。

ちなみに、1 段動詞で出レ、建テレなどの -レ形が出ているのは五所川原だけで、他は -ロ形である。その中にあって、私の方言の sja[ˈberu (しゃべる) は sjaˈbet[ta などから 5 段動詞のはずであるが、命令形は sja[ˈbero しかなく、「シャベレ」はどこかの方言だと感じてしまう。活用形の中に sjaˈbera[ne と <m>sjaˈbe[ne; sja[ˈberuna と <o>sja[ˈbena が併存しているためと思われる。

残るは過去終止形・連体形とテ形であるが、まず、1 段動詞 3 拍語の「建てる、伸びる、出来る」の場合は、全地域が終止形と同じ②型の ta[deda, ta[dede で問題ない。東京方言のようなタテ]ル〜タ]テタ、タ]テテの類いの交替は起こらない。

1 段動詞でも 2 拍の「出る、見る、来る」は方言差がはっきり出る。津軽から見ていくと、五所川原は、タ形・テ形ともすべて②型になる (mi[ˈda, mi[ˈde の前鼻音は m- に由来)。ところが、弘前では、そのうちの「出る」だけが [deda, [dede の①型で出る。各母音の広狭の配列が「狭 (i/u)・広 (a/e/o)」の配列構造の場合にのみ、mi[ˈda, mi[ˈde の②型で出るものと考えられる。一方、旧南部藩の八戸と風間浦では、その環境でも [mide, [mide で、弘前とは異なる。ここまでで、青森県側の 4 地点は相互に区別される。ところが、「来る」は岩手側を含む全地点で ki[ta, ki[te である。これは、表記は省略したものの、この「狭広」の構造において無声子音に挟まれたキの狭母音が無声化するからである。その場合、核は次の拍に移る。少し古い東京方言も同様であった (今では、無声化しても①型が主となっている)。

1 段動詞 2 拍語の岩手側は、また違う様相を呈する。雫石では、タ形はともに de[da, mi[da の②型であるが、テ形では、片や①型の [dede のみで de[de は異様なほど不可であり、片や①型 [mide と②型 mi[de とも言えるのである。一方、盛岡は、片や [deda, de[da の併用でありながら、やはり [dede のみ、片や [mida, mi[da でテ形も [mide, mi[de の併用である。つまり、雫石と比べると、テ形は同じで、タ形が併用である点が異なっている。盛岡方言は、雫石方言の枠を一步東京方言に近づけた形とも言える。なお、前述のように、両方言ともに ki[ta, ki[te である。

2 拍と 3 拍の 5 段動詞では音便の種類がアクセントに影響を与える。イ音便 (書く、泳ぐ)、非音便 (出す、隠す) においては地域差がなく、[kaida/de, o[joiˈda/ˌde, [dasita/te, ka[gusita/te である。「(-)〇弱〇」の配列構造では、すべて (-)〇弱〇の前次末核となる。その後に [kEda のような母音融合が起こっても核の位置は変わらない。なお、「歩く」は津軽のみ a[sagu であるが、やはりイ音便で a[saida/de である。また、「泳ぐ」は風間浦のみ撥音便で出るが、アクセントは同じく o[joNda/de である (次の段落の後半も参照)。

他の音便形では、津軽 (五所川原・弘前) では、促音便でも撥音便でも、拍数も問わず、その最後に核がくる。at[ta, ut[ta, tot[ta, joN[da, sangat[ta, harat[ta, tanoN[da (会った、打った、取った、読んだ等で、テ形も同様) である (弘前は併用で [utta も)。ところが、南部になると、風間浦では 2 拍動詞の促音便は同じく at[ta, ut[ta, tot[ta であるものの、2 拍動詞撥音便は [joNda, 3 拍動詞になると音便の種類を問わずすべて sa[ngatta, ha[ratta, a[rutta (歩いた), ta[noNda 等で、終止形

と核の位置は同じになる。そして八戸は、そもそも拍数も音便の種類も問わず、すべて核の位置は東京と同じになる。[atta, [kaita, [joNda, ha[ratta, ta[noNda, ka[gusita 等々である。

2 拍と 3 拍の 5 段動詞で、既出のイ音便・非音便以外で残るは岩手県側である。まず雫石は、やはり拍数、促音便か撥音便かの条件に加え、タ形かテ形かで区別が出る。2 拍動詞では、促音便は at[ta, ut[ta のみであるのに対して、撥音便の joN[da は [joNda も許される。そしてテ形ではどちらも [atte, [utte, [joNde のみである。3 拍では、音便形にかかわらず、sangat[ta, sa[ngatta; arut[ta, a[rutta（歩いた）；tanoN[da, ta[noNda の併用で、テ形は sa[ngatte, a[rutte, ta[noNde のみとなる。

盛岡の 2 拍 5 段動詞では、音便を問わず、タ形は言い切り形では [atta, at[ta; [totta, tot[ta; [joNda, joN[da 等の併用であるが、連体形になると at[ta, tot[ta, joN[da のみが得られている。このような場合、連体形でも [atta_do[gi, [joNda_do[gi 等を提示してその使用を尋ねれば、それも可との答えが返って来る可能性は高い。が、ここではそれよりも、連体形では一貫して at[ta, joN[da を答えている事実を重視したい。私の雫石方言でも at[ta であり、joN[da が第 1 であることを考えると、そしてまた、盛岡では過去回想形の at[tatta, joN[datta も記録してあってこれらの形も私と一致することからも、盛岡もかつて一度は at[ta, joN[da となっていて、[atta, [joNda はその後再登場した新しい形ではないかと考えられるからである。なお、盛岡でもテ形は [atte, [joNde である。

3 拍の 5 段動詞では、終止形・連体形を問わず、ha[ratta, harat[ta; a[rutta, arut[ta（歩いた）；ta[noNda, tanoN[da の併用で、テ形は ha[ratte, a[rutte, ta[noNde のみである。これは雫石と事実上同じである。

最後に、特殊なパターンを取る「入る」を扱う。青森側の語形は [heru, [haru などであるが、アクセントはタ形・テ形も含めて①型を基本とし、否定形は語末に核がくる。命令形は津軽（弘前・五所川原）と風間浦の女性形でやはり語末に、風間浦の男性形と八戸は語頭に核がくる。

岩手側の雫石は、[hetta, het[ta; [hette で、否定形は hera[ne と [herane の併用であるが、後者は否定形アクセントとして例外的であるのみならず、両者には意味の違いがある。hera[ne は、物が中に入らないという事実を単に述べるだけであるが、[herane は、入れようといろいろやってみたが入らない、という努力の経緯が含まれる。hu[rosa（風呂に）～でも、hera[ne は事実の記述であるが、[herane は自分の意志・判断が関わる。過去形の hera[negatta と [heranegatta でも同様である。

盛岡は、タ形言い切りでは [hEtta と hEt[ta の併用でありながら、連体形では [hEtta のみを回答している。否定形も hEra[nE と [hEranE を記録してあり、おそらく雫石と類似した意味の区別があるのではないかとと思われるが、確認まではしていない。

4.3 参考追加語例

表 2 に追加した例の de[haru（出る）は、雫石では否定形 deharane の他に de[harane もあるのが特徴である。「出＋張る」の複合動詞由来が関与していると見る。五所川原でも、そのタ形とテ形は de[hatta, de[hatte で、ha[rau（払う）の harat[ta, harat[te とは異なっていることが注意を引く。

今一つ、私の方言の「寝る neru 0」の欄に注記をただけで他地域での活用は聞いていないが、

[neru は《眠る》意で, [netta, [nette, [neruna, [nerane, [nere で, すべて①型で通す。「寝入る」に由来する形で, 前部要素は無核型であるが, *ne[iru > [neru となったものと見る (なお, 五所川原にも [neru があるものの, 簡単に調べた限りでは雫石とは意味が違うようである)。それに対して, 「会う」に注記した「行き会う」の形は, それが -au であれ -aru であれ, 基本は前に igi- が付いた形で, 予想通りの振る舞いをする。意味は《行って会う》意で, 待ち合わせにも使える。

なお, この調査票は全国用に作った関係で関西方言などを意識して**仮定形**(〜バ)は含めておらず, 今回も調査をしていないが, 私の方言では, アクセントを含めた終止形そのままにバが付く。「着る, 見る, 売る, 書く, 着せる, 払う, 入る」はそれぞれ kiru`ba=, [miru`ba, uru`ba=, [kagu`ba, kisjeru`ba=, ha[rau`ba, [heru`ba で, 活用を失っている(祖母の代は kire`ba= などで活用していた)。

5. 分節音

破音(破裂音・破擦音)音素は2系列ではなく, /p, b, `b; t, d, `d; c, z, `z; k, g, ŋ/ の各3系列が必要であることは, 上野(1973)以来一貫して主張してきたが, 本資料からも, たとえば /cu[keru/ (付ける), /cu[geru/ (掲げる), /cu[ŋeru/ (継げる) の3項対立が事実上全集落で確認できる。後2者は可能動詞であるが, その元の形の [cugu (掲ぐ), cuŋu= (継ぐ) の当該音が話し手の頭の中でそれぞれ (/k/, /g/ ではなく) /g/, /ŋ/ と捉えられていたからこそ, その語幹形 /cug-/ , /cuŋ-/ に基づいて作り出されたのが /cu[geru/ (掲げる), /cu[ŋeru/ (継げる) である。これは単なる研究者の解釈ではなく, 話者自身がそのように捉えていることの反映である点は何よりも重要である。

その他, ne`bokeru (寝ぼける) は全域で -k- であって bogeru (ぼける) の -g- とは区別され, さらに, norokeru (のろける), hu`zakeru (ふざける), to`bokeru (とぼける), surakeru (白ける), namakeru (怠ける), bojakeru (ぼやける。可能動詞は -g-) も -k- が多く出ると同時に, 青森側を中心に -g- も出てその分布パターンも注目される。urocugu (うろつく), huracugu (ふらつく), buracugu (ぶらつく), mangocugu (まごつく) も事実上全域で -c- であり, izugu (居着く), ozuzugu (落ち着く) の -z- とは区別される。gomakasu (ごまかす), damakasu (だまかす), hijakasu (冷やかす), 岩手側の jarakasu (やらかす) の -k- も同様に, kawagasu (乾かす), curagasu (散らかす) の -g- と区別されている。cu`zukamu (縮かむ), hinekuru (捻くる), ho`zukuru (ほじくる) も大部分が -k- で出ている。もとより, -ng- は安定して出る。いずれも3系列を設けないと解釈できない事実である。

参考文献

- 平山輝男編 (1982) 『北奥方言基礎語彙の総合的研究』東京: 桜楓社。
 此島正年 (1965) 「下北方言語法考」『弘前大学人文社会』35: 53-65。
 上野善道 (1973) 「岩手県雫石町方言の音韻体系」『日本方言研究会第17回研究発表会発表原稿集』23-34。
 上野善道 (1986) 「青森市方言の動詞のアクセント」『日本海文化』13: 1-49。金沢大学。
 上野善道 (2019a) 「北奥方言の動詞のアクセント資料 (1)」『国立国語研究所論集』第17号: 101-130。
 上野善道 (2019b) 「津軽方言の形容詞のアクセント」『ことばとくらし』31: 11-18。新潟県ことばの会。

Accent Data of Verbs in the Northern Tohoku Dialects: Part 2

UWANO Zendo

Emeritus Professor, The University of Tokyo/

Invited Professor, Department of Linguistic Theory and Structure, NINJAL [–2015.03]/

Project Collaborator, NINJAL

Abstract

This paper presents accent and segmental data of 374 four- to seven-mora-long verbs in the Northern Tohoku dialects. These dialects exhibit n contrastive pitch patterns for n -mora verbs, of which the kernelless and penultimate patterns are dominant. The data of eight conjugated forms of 35 basic verbs are also provided, together with dialectal differences among them.

Key words: Northern Tohoku dialects, Nambu dialects, Tsugaru dialects, verbs, accent

類	項目	盛岡	平石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4a2	供える(仏壇に)	2(sonEru)	2(sonEru)	2(sonaeru)	2(sonaeru)	2(sonaeru)	3	<m>2(sonaeru), angeru 0
4a2	倒れる(木が;病気になる)	3(okkEru 3)	3(okkEru 3)	3(okkeru 3だが <x>内閣が)	3(okkEru 3)	3(taoeru),okkeru 3	3(okkeru 3)	2(taoeru),okkeru 3
4a2	助ける(貧しい人;溺れた人 を[救])	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3	3(-k-)
4a2	尋ねる(聞く;訪問)	3(-zu-),<m>tanneru 2	3(-zu-)	<m>3(-zu-),kigu 0;igu 0,<o>tanneru 2	0(-zu-),tanneru 2(OK)	3(-zu-),taNneru 3	<m>3,kigu 0;igu 0	3(-zu-),tanneru 2
4a2	響える[喩]	2(-d-)	<m>2(-d-)	2(-d-)	2(-d-)	3(-d-)	3	2(-d-)
4a2	束ねる(稲;髪を;就率)	3(-b-;物は marugu 0)	3(-b-;物は marugu 0)	3(-b-;物は marugu 0)	3(-b-)	3(-b-)	3	3(-b-)
4a2	疲れる(足が;生活に)	3(cuka(r)eru)	3(cukaeru)	3(cukaeru)=[使え る]	3(cukareru)	3(cukaeru)	3	2(-kae-)
4a2	勤める[務;努]	3	3	3	3	3	3	3
4a2	流れる(水に;試合が)	3(-ngareru)	3(-ngareru)	3(-ngaeru)	3(-ngareru)	3(-ngareru)	3(-ngaeru)	3(人)はnangaeru 2)
4a2	宥(なだ)める(子供を)	0(-d-)(OK)	0(-d-)	3(-d-)	0(-d-)(OK)	3(-d-)	3	0(-d-)
4a2	離れる(距離;年が;親元を)	3(-nare-)	3	3(-nae-)	3(-nare-)	3(-nae-)	3	2(-nae-)
4a2	開(ひら)ける(街が)[拓]	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-).可能動詞 も同.	3(-g-)	3(-g-)	3	3(-g-)
4a2	広める(噂;知識を)	0	0	0	0	0	0	0
4a2	隔てる(距離;時を)	3(-dad-)	3(-dad-)	3(-dad-)	3(-dad-)	3(-dad-)	3	x
4a2	任せる(一任;身を;成り行き に)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-gahe-)	3(-gahe-)	3	3(-gahe-)
4a2	紛(まぎ)れる(気が;人込み に)	<m>3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	0(-ng-)(OK)	3(-ngieru)	3(-ngire-)	3(-ngire-)
4a2	乱れる(字;生活が)	3(-dare-)	3(-dare-)	3(-dare-)	3(-dare-)	3(-daeru)	3	2(-daeru)
4a2	儲(もう)ける(金;子供を;一 席[設])	2(mogeru)	2(mogeru)	2(mogeru;金以外 は<m>mogeru 3)	3(mogeru)	2(mogeru)[<m>3]	2(mogeru)	2(mogeru)
4a2	破れる(服;紙;夢が;横綱が [敗])	3(-b-;物は huccjageru, buccjageru 3); <m>3[mageru 0]	3(-b-);<m>3 [mageru 0]	3(-b-;物は huccjageru, buccjageru 3); <m>3[mageru 0]	3(-b-)	3(-bueru)	<m>3[mageru 0]	2(-bueru)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4az	屈(かが)める(腰を;可)	0(-ng-.kongomaru 0); <m>3 (kongomaru_u_i: 0+1)	0;3(-ng-)	0;3(-ng-)	0;3(-ng-)	0;3(-ng-)	0;3(-ng-)	0;<m>3(-ng-)
4az	かぶれる(漆に)	0(-bure-)	0(-bure-)	0(-bure-)	0(-bure-)	0(-bure-)	0	0(-bueru)
4az	被(かぶ)れる(可)	3(-bure-, ka'buru_u_i: 2+1)	3(-bure-)	3(-bure-)	3(-bure-)	3(-bure-)	3	<m>2(-bueru. ka'buru_u_i: 2+1)
4az	感じる[感ずる]	0(-zu-)	0(-zu-)	0(-zu-).意識は 「感じる」	0(-zi-)	0(-zi-)	0(-zi-)	0(-zi-)
4az	着替える(カ/ガ)	2(-ng-)	2(-ng-)	2(-ng-のみ,<普> kinge_su 0+0 着 替える)	2(-ng-)	3(-ng-)	2(-ng-)	2(-ng-)
4az	鍛(きた)える(足腰を)	2(-tae-)	0(-tae)(OK)	0,2(-tae)	0(-tae)(OK)	2(-dae-)(OK)	3	0(-tae-)
4az	砕(くだ)ける(岩;話が;可)	3(-dage-)	3(-dage-)	3(-dage-)	3(-dake-)	3(-dage-)	3	3(-dage-)
4az	括(くく)びれる(腰が)	0(-bire-)	0(-bire-)	0(-bire-)	0(-bire-)	0(-bieru)	0	0(-bieru)
4az	銜(くわ)える(口に)[加]	2	2	2[<m>2.tasu 0]	2	3	3	2
4az	食わせる(食事;扶養:一杯～ =だます)	3(kasjeru 2)	3(kasjeru 2)	3(kasjeru 2)	3(kasjeru,kaheru 2)	3(kaheru 2)	3	2(kaheru)
4az	肴(こさ)える(御飯を)	0(kosjEru)	0(kosjEru)	0(kosjeru)	0(koseru,koheru)	0(koheru)	0(koseru)	0(koheru)
4az	拗(こじ)れる(話が)	3(-zure-), ko'cukureru 4	3(-zure-), ko'cukureru 4	3(-zure-), ko'cukureru 4	3(-zure-)	3(-zure-)	3(ko'cikeru 3)	2(-zie-)
4az	堪(こた)える[応]	2(kodEru)	2(kodEru)	2(<o>koderu),否 定形(良い意)は <普>koderaene 5.	2(-d-)	2(koderu)	3	2(-dae-)
4az	栄える(家,国が)	2(-gae-)	2(-gae-)	2(-gae-)	2(-gae-)	3(-gae-)	3	0(-gae-)(OK)
4az	寂(さび)れる(街が)	3(-bire-)	3(-bire-)	3(-bire-)	3(-bire-)	3(-bieru)	0(OK)	2(-bieru)
4az	仕上げる(仕事を)	3(suangeru)	3(suangeru)	3(suangeru)	3(suangeru)	3(suangeru)	3(-ng-)	3(suangeru)
4az	仕掛ける(技;罫を;やりかけ る)	3(sukageru)	3(sukageru)	3(sukageru)	3(sikageru)	3(sikageru)	3	3(sikageru)
4az	しかめる(顔を)	0(suka-)	0(suka-)	0(suka-)	0(nikameru (OK) 0)	0(sika-)	0	0(sika-)
4az	沈める(舟;声,騒ぎを[静, 鎮]) [可]	0(su'zu-)[<m>3]	0(su'zu-)[3]	0(su'zu-)[3]	0(su'zu-)	0(su'zu-)	0	0(su'zu-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4az	通じる[通ずる]	0(cu:~zu-)	0(cu:~zu-)	0(cu:~zu-)	0(cu:~zi-)	0(cu:~zi-)	0(-zi-)	0(cu:~zi-)
4az	使える(手;英語が;役に立つ)	3(cukae-)	3(cukae-)	3(cukae-)	2(cukae-)(OK)	3(cukae-)	3(cukae-)	<m>2(cukaruni_i: 0+1)
4az	支(つか)える(頭が;喉に[病])	2(cukae-)	2(cukae-)	2(cukae-, <o>cukeru 2)	2(cukae-)	2(cukae-)	2(cukeru)	2(cukae-),cukeru 2
4az	憑(つ)かれる(狐に)	3(cuga(r)eru)	3(cugareru)	<m>3(cugareru, <x>-k-)	3(cugareru)	3(cugareru)	3	2(cugae-)
4az	続ける(話を;可)	0;<m>3(-~zuge-)	0;3(-~zuge-)	0;3(-~zuge-)	0(-~zuge-)	0(-~zuge-)	0	0(-~zuge-)
4az	潰れる(卵;目;チャンス;店;時間が)	0(-~bue-)	0(-~bue-)	0(-~bue-)	0(-~bue-)	0(-~bue-)	0	0(-~bue-)
4az	強める(火;警戒を)	3	3	3	3	3	3	3
4az	手掛ける(仕事を)	3(tengageru)	3(tengageru)	3(tengageru)	3(tengageru)	3(tengageru)	3(-ng-)	3(tengageru)
4az	出かける(買い物に)	3(degageru)	2(degageru)	2,3.(degageru).出始める意ならdekgageru 3.	3(degageru)	3(degageru)	0(OK)	3(degageru)
4az	出過ぎる(前;外に;でしゃばる)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)
4az	届ける(荷物;拾い物;書類を)	3(-doge-)	3(-doge-)	3(-doge-)	3(-doge-)	3(-doge-)	3	3(-doge-)
4az	恍(とほ)ける(知らん振り;間抜け)	0(to~bokeru)(OK)	0(to~bokeru)	0(to~bokeru)	0(to~bokeru)	3(to~bokeru, -keru)	3(-g-)	0(to~bokeru)
4az	眺める(星;景色;顔をじつと)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)
4az	怠(なま)ける(仕事を)	3(-k-)(OK)	3(-k-)	3(-k-,<o>-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)
4az	煮立てる(ぐらぐらと)	3(nudade-)	3(nudade-)	3(nudade-)	3(nitade-)	3(nidaderu)	3	3(nidaderu)
4az	寝かせる(子供を;横に;資金を)	0(-gasje-)	0(-gase-)	0(-gase-)	0(-gahe-)	0(-gahe-)	0	0(-gahe-)
4az	捻(ねじ)れる(紐;根性;関係が)	3(-zure-)	3(-zure-)	3(-zure-)	3(-zire-)	3(-zire-)	3	2(-zire-)
4az	寝惚(ぼ)ける(頭が;~たことを)	0(ne~bokeru)(OK)	0(ne~bokeru)	0(ne~bokeru.色やピントはbogeru 2)	3(ne~bokeru)(OK)	3(ne~bokeru)(OK)	0	0(ne~bokeru)
4az	眠れる(可;~獅子)	<m>3(nereru 2);3	<m>3(nereru 2);3	<m>3(nereru 2);3	0	3	3	x

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4az	のろける(のろけ話)	0(-k-)	0(-k-)	0(-k-)	3(-k-)(OK)	3(-g-)(OK)	0	0(-k-)
4az	弾(はじ)ける(栗が;可)	3(haːzugeru)	3(haːcukeru, haːzugeru; haːzugeru)	3(haːcukeru, haːzugeru.ノバブル も; haːzugeruの み)	3(-ːzike-)	3(-ːzige-)	3(haːcikeru; haːzigeru)	3(haːcikeru; <m>haːzigeru, haːziguni_i: 2+1)
4az	拉(ひし)げる(形が)[ひしや ける]	0(-ng-)	0(-ng-)	3(hisjangeru 2)	0(-ng-)	3(hisjangeru)	0(hisjangeru)	<m>3(-ng-)
4az	ふざげる(冗談で; ~た真似 を)	0(-ːzakeru)(OK)	0(-ːzakeru)	0(-ːzakeru)	0(-ːzakeru)	3(-ːzageru)(OK)	3	3(-ːzjageru)
4az	ぶつける(頭;石を;対戦)	3(-cukeru)	3(-cukeru)	3(-cukeru)	3(-cukeru)	3(-cukeru)	3	3(-cukeru)
4az	ふやける(指が)	3(-ge-)	3(-ke-)	3(-ke-)	3(-ke-)	3(-ge-)	3	3(-ge-)
4az	震える(体;窓ガラスが)	0	0	0	0	0	0	0
4az	焙(ほう)じる(お茶を)	0(-ːzu-)	0(-ːzu-)	<m>3,0(-ːzu-)	0(-ːzi-)	-	<m>3	0(-ːzi-)
4az	解(ほど)ける(紐が;可)	3(-ːdoge-)	3(-ːdoge-)	3(-ːdoge-)	3(-ːdoke-)	3(-ːdoge-)	3	3(-ːdoge-)
4az	ぼやける(像が;「ぼやく」の 可)	0(bojakeru); <m>3(-g-)	0(bojakeru, bojageru); 3(-g-)	0(bojakeru, bojageru); 3(-g-)	3(-k-);x	3(-g-)	3	3(-g-)
4az	捲(まく)れる(裾が)	0(-gure-)	0(-gure-)	0(-gure-)	0(-gure-)	0(-gure-)	0	0(-gure-)
4az	丸める(紙;頭を;丸め込む)	0	0	0	0	0	0	0
4az	見飽きる	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)<o>2?	3(-g-)	3(-g-)	3	3(-g-)
4az	見上げる(空を)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)
4az	見付ける(探し物を)[めつけ る]	3(-cuk-)[<普>3]	3(-cuk-)[<普>3]	3(-cuk-)[<普>3]	3(-cuk-)[<普>3]	3(-cuk-)[<普>3]	3[x]	3(meːcukeru) (OK)[<o>3]
4az	認める(そうと~;非を)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	0(-d-)(OK)	3(-d-)(OK)	0(OK)	0(-d-)
4az	むくれる(不機嫌;皮がむけ る[剥])	0(-gue-), muːcukureru 4	0(-gure-)	0(-gure-; megureru 0)	0(-gure-)	0(-gure-)	0	0(-gue-)
4az	命じる[命ずる]	0(-ːzu-)	0(-ːzu-)	0(-ːzu-);意識は 「命じる」	0(-ːzi-)	0(-ːzu-)	0(-ːzi-)	x(iːcukeru 3)
4az	目覚める(朝;性に)	3(-ːza-)	3(-ːza-)	3(-ːza-)	3(-ːza-)	3(-ːza-)	3	3(-ːzja-)
4az	もらえる(褒美を)	3	3	3	3	3	3	x(moraruni_i: 0+1)
4az	休める(体を;可)	3	3	3	3	3	3	3jasumuni_i: 2+1
4az	甞(や)つれる(顔が)	3(-zu(r)e-)	0(-zure-)(OK)	3(-zure-)	3(-cure-)	3(-zure-)	3	3(-z-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4az	やらせる(させる)	0(-sje)	0(-sje)	0(-sje)	0(-he-)	0(-he-)	0	0(-he-)
4az	やられる(される)	2(-rae-)(OK)	2(-rae-)	1,2.(-rae-,過去形も1,2)	0(OK)	2(-rae-)(OK)	0(OK)	0(-rae-)
4az	緩(ゆる)める(帯; 気; 取り締まりを)	3	3	3	3	3	3	3
4az	結わえる(組で)	2	2	2(-waeru, <o>-weru)	2(jukiparu 3)	2(-wairu)	2	2(-waeru)
4az	汚(よ)れる(手; 空気が [§])	0(-ngore-)	0(-ngore-)	0(-ngoe-).洗濯物がちゃんと乾いていない状態をjongocdera(汚れている)4と表現.	0(-ngore-)	0(-ngoeru)	0(-ng-)	0(-ngoeru)
4az	湧き出る(水; 虫; 考えが [§] [涌])	3(-gi-de-)	3(-gi-de-)	3(-gi-de-, gide-)	3(-gide-)	3(-gi-de-)	3	3(-gide-)(OK)
4bz	味わう(食べ物; 雰囲気)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-ziwaru)	3(-ziwaru)	3	x(a ciko_miru 0+1)
4bz	預かる(金; 子供; 命を; お褒めに[与])	3(-zuga-)	3(-zuga-)	3(-zuga-)	3(-zuka-)	3(-zuga-)	3	3(-zuga-)
4bz	汗ばむ(～季節)	3(ase-ba-)	3(ase-ba-)	3(ase-ba-)	3(aheba-)	3(ase-ba-)	3	x(ase_kagu 2+1)
4bz	扱う(丁寧に; 客を)	0(azugau)	0(-cuka-)	0(-cuka-, -zuga-, 後者は<o>養う意)	0(-cuka-)	0(-cukaru, azugaru 0は養う意)	3(-ru. 子供や老人を養う意)	x
4bz	集まる(人; 金) [§]	0(-z-)	0(-z-)	0(-z-, <o>-baru)	3(-z-)	3(-z-)	3	3(-zuba-)(OK)
4bz	宛(あ)てがう(布; 人)	0(-dengau)	0(-dengau)	0(-dengau)	0(-dengaru)	0(-dengaru)	0(-ngaru)	0(-dengaru)
4bz	肖(あやかる(偉い人)に)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-k-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)
4bz	謝る(素直に; 道; 答えを[誤])	3[<m>3]	3	3[<m>3, mazungau 3]	3[<n>3]	3[<m>3]	3[<m>3]	3[<m>3]
4bz	争う(先, 優勝)	3(-sou)	3(-sou)	3(-sou)	3(-sou)	3(-soru)	3(-sou)	<m>3
4bz	表わす(言葉に; 正体を[現])	3	3	3	0(OK)	3	3	3
4bz	合わさる(びったり～)	3	3	3(サル形は方言のようないきがしてしまふ)	3	3	3	3
4bz	泡立つ(石鹸; 水が [§])	3(-dazu)	3(-dazu)	3(-dazu)	3(-dacu)	3(-dazu)	3	x(awa_tazu 2+1)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	生み出す(新製品;利益を) [産出]	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	x
4bz	裏切る(味方;予想を)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3	3(-ng-)
4bz	占う(易で;将来を)	3	3	3	3(-ru)	3(-ru)	3(-u)	<m>3(mi`de_ morau 2+0)
4bz	羨(うらやむ(皆が;成功を))	3	3	3	3	3	3	<m>3
4bz	売(り)出す(新製品;自分を)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	うちつく(あたりを)	0(-zugu,-cugu)	0(-zugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0	0(-cugu)
4bz	追い越す(車を;後から来て)	3(-g,-kattosu 3 < 「駆け通す」から と)。追い付くは kaccugu 3	3(-g-)	3(-k,-g,-kattosu 3)。追い付くは kaccugu 3	3(-k,-tokkosu 3)	3(-k-)	3	<m>3(occugu 3)
4bz	補う(足りない分;欠点を)	3(-nginau)	3(-nginau)	3(-nginau)	0(-nginau)(OK)	3(-nginau)	3(-nginau)	x(adengaru 0,tasu 0)
4bz	奥まる(通りから引っこ込む)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3	3(-g-)
4bz	取まる(うまく~;注文品が [納];争いが[治])	3	3	3	3	3	3	3
4bz	押し込む(無理やり中に)	3(-suko-)	3(-suko-)	3(-suko-)	3(-siko-)	3(-siko-)	3	3(-siko-)
4bz	教わる(先生から)	0	0	<m>0(narau 2)	0	0	0	<m>0(kigu 0)
4bz	落ち着く(気持が;結婚して)	0(-zuzugu)	0(-zuzugu)	0(-zuzugu)	3(-zizugu)	3(-zizugu)	0(OK)	3(-zizugu)
4bz	脅(おどか)す(わっと;脅迫)	0(-doga-)	0(-doka-)(OK)	0(-doka- <o?>-doga-)	0(-doka--o`dosu 0)	0(-doga-), o`dorogasu 4	0	0(-doga-)
4bz	驚く(びっくりする;目を覚 す)	3(o`dorogu, dodeNsu 2; 過去形o`dorotta 3)	3(o`dorogu)	3(o`dorogu, doNdesu 3);<o>3 (過去形 o`dorotta 5,3)	doNdeN_suru 3+0; odorogu,odorotta 3	3(o`dorogu)後者 の過去形は o`dorotta 3.	3;x(odogaru 3)	3(o`dorogu); x(o`dogaru 3)
4bz	負(かさ)る(背中に;人にすっ かり)	3(-b-)	3(-b-)	3(-bo,-bu-)	3(-b-)	3(-b-)	3	3(-bo-)
4bz	書き取る(メモ;英語を)	3(-gido-)	3(-kito-)	3(-kito,-gito-)	3(-kito-)	3(-kito-)	3	3(-kito-)
4bz	匿(かくま)う(犯人を)	3(-gumau)	0(-gumau)(OK)	3(-gumau)	3(-gumaru)	3(-gumaru)	3(-ru)	<m>3(kagusu 2)
4bz	重なる(上に;日にち;不幸 が)	0	0	0	0	0	0	0
4bz	嵩(かさ)張る(荷物が)	3(-b-)	0(-b-)(OK)	3(-b,-gasa`baru 3 も)	0(-b-)(OK)	0(-b-)	3	3(-b-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	片付く(仕事が;結婚)	3(-da~zugu)	3(-da~zugu)	3(-da~zugu)	3(-dazugu)	3(-dazugu)	3	3(-dazugu)
4bz	がたつく(がたがた;不安定)	0(gadazugu)	0(gadacugu)	0(gadacugu, <oo>-zu-)	0(gatacugu)	0(gadazugu)	0	0(gadacugu)
4bz	固まる(粘土;方針が [§])	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0	0(-d-)
4bz	傾く(家;運;日;気持が [§])	3(-damugu)	3(-damugu)	3(-damugu)	3(-damugu)	3(-damugu)	3	<m>3(kasingaru 3)
4bz	片寄る(一方に;栄養が [§])	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	被(かぶ)さる(上に;責任が [§])	3(-bu-,~pu-)	3(-bu-,~pu-)	3(-bu-,~pu-)	3(-bu-)	3(-bu-)	3(-pusa-)	3(-pusa-,~busa-)
4bz	噛み合う(話;尖が [§])	3	3	3;<m>3	3(-au)	<m>3(-aru)	<m>3(-au)	<m>3(否定形 で)x
4bz	絡まる(紐が [§])	3	3	3(kumakeru 4)	3(kumaru 2)	3	3	3
4bz	乾かす(洗濯物を)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3	3(-g-)
4bz	感付く(薄々~)	3(-zugu)	3(-zugu)	3(-zugu)	3(-zugu)	3(-zugu)	3	3(-zugu)
4bz	頑張る(一生懸命~;入り口 で)	0	0	0	0	3(OK)	3(OK)	0(OK)
4bz	着飾る(きれいに~)[モヨ ウ]	3(-ka~za-)[mojou 2]	3(-ka~za-)[mojou 2]	3(-ka~za-)[mojou 2(人前に出られ る格好をする)]	3(-ka~za-)[mojou 2]	3(-ka~za-)[mojou 2]	0,maganaru 3[x]	3(-ka~za-)[x]
4bz	聞き取る(音を;関係者から)	3(kigidoru)	3(kikito-)	3(kikito,kigito-)	3(kikito-)	3(kigito-)	3	3(kikito-)
4bz	傷付く(ブライド;机;体が [§])	3(-zucugu)	3(-zucugu)	3(-zucugu);物は ki~zu_cugu 0+1; 体はkenga_su 2+0.	3(-zucugu)	3(-zuzugu)	3	0+1(ki~zu_cugu), ki_warugu_su 0+2+0)
4bz	切り出す(木材;話を;切り始 める)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	食い込む(肌;上位に)	3(-g-)	3(-g-)	3(-k-,g-)	3(-k-)	3(-k-)	3	3(-g-)
4bz	煙(くすぶ)る(煙;不満が [§])	0(-b-)	0(-b-)	3,0(-b-)	0(-b-)	0(-b-)	0	0(-b-)
4bz	くたばる(死ぬ;猛練習で)	3(-ta~ba-)	3(-ta~ba-)	3(-ta~ba-)	0(-ta~ba-)(OK)	3(-ta~ba-)	3	3(-ta~ba-)
4bz	くつつく(びったり;ゴミ;男 女が [§])	3(-cugu)	3(-cugu)	3(-cugu)	3(-cugu)	3(-cugu)	3	3(-cugu)
4bz	苦しむ(病気で;生活;理解 に)	3(-su-)	3(-su-)	3(-su-)	3(-si-)	3(-si-)	3	3(-si-)
4bz	黒ずむ(肌;壁が [§])	3(-z-)	<m>3(-z-, kuregu_naru 2+1)	<m>3(-z-, kuregu_naru 2+1)	3(-z-)	3(-z-)	3	x(kurogu_naru 2+1)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	蹴(け)飛ばす[→蹴っ飛ばす]	2(-b-)3(-b-), hu*bazugu 3	x[<普>3,1.(-b-)]	<m>2[<普>3,1.(-b-)]	3(keto*basu)[4]	3(keto*basu)[4]	3[4]	2(keto*basu)[x]
4bz	こだわる(細部に)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	断わる(依頼を;一言～)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	ごまかす(金;年を;笑って～)	3(-k-)(OK)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3	3(-g-)
4bz	転がす(丸太;玉を;土俵で)	0(-ng-);相手は okkEsu 3	0(-ng-)	0(-ng-);相手は okkesu 3	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-);相手は okkesu 3
4bz	転がる(10円玉が;転倒;寝転がる)	0(-ng-);転倒は okkEru 3	0(-ng-)	0(-ng-);転倒は okkeru 3	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-);転倒は okkeru 3
4bz	逆らう(親;流れに)	3(-garau)	3(-garau)	3(-garau)	3(-garau)	3(-garau)	3(-rau)	3(-garau)
4bz	先立つ(人;親に;～物は金)	3(-gi*dazu)	3(-gi*dazu)	3(-gi*dazu)	3(-gi*dazu)	3(-gi*dazu)	3	3(-gi*dazu)
4bz	囁(ささや)く(耳元で;ぶつぶつ～)	3(-gu)	0(-gu)(OK)	0,3.(-gu)	0(-gu)(OK)	3(-gu)	3	x
4bz	さ迷う(迎りを)	3	3	3(生死を～は<n>)	3(-ru)	3(-ruか?)	<m>3(-u) Cf. majoru	x Cf. majoru 2 (迷う)
4bz	寒がる	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	<m>3(sa*bingaru 3)
4bz	ざらつく(表面;肌が)	0(-zugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	3(-zugu)(OK)	0	0(-zugu)
4bz	ざわめく(木;会場が)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(zjawamegu)	3(zjawamegu)
4bz	仕上がる(立派に～)	3(suanga-)	3(suanga-)	3(suanga-).名詞 は同形 0	3(suanga-)	3(suanga-)	3	3(suanga-)
4bz	しくじる(失敗)	3(sugu*zu-)	3(sugu*zu-)	3(sugu*zu-)	3(siku*zi-)	3(sigu*zi-)	3	3(sigu*zi-)
4bz	静まる(しーんと;嵐;騒ぎが [鎮])	0(su*zu-)	0(su*zu-)	0(su*zu-)	0(su*zu-)	0(su*zu-)	0	0(su*zu-)
4bz	しでかす(へマ;悪事を)	3(su*dega-)	3(su*dega-)	3(su*deka-,ga-)	3(si*deka-)	3(si*dega-)	3	x(jattenaru 4)
4bz	支払う(電気代を)	3(su-)	3(su-)	3(su-)	3(sihararu,hararu 2)	3(sihararu)	<m>3(-u,hararu 2)	<m>3(-u,hararu 2)
4bz	締め切る(窓[閉];申込を)	3(sumegiru)	3(sumegiru)	3(sumekiru;-g-, -k-).後者の名詞 は-giru 0のみ。	3(simeki-)	3(simeki-,gi-)	3	3(simeki-)
4bz	陣取る(席;陣地を)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-)
4bz	咳き込む(続けて)	3(-gigo-)	3(-gigo-)	3(-kiko-,giko-, <o>-gigo-)	3(-kiko-)	3(-kiko-)	3	3(-giko-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	勤まる(会社に;役が[務])	3(-t-)	3(-t-)	3(-t-)	3(-t-)	3(-t-)	3(-t-)	3(-t-)
4bz	繋がる(橋で;電話;首;血;車が ^ス)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)
4bz	呟(つぶや)く(ぶつぶつ～)	3(-'bujagu)	0(-'bujagu)(OK)	3,0,(-'bujagu)	0(-'bujagu)(OK)	3(-'bujagu)	3	<m>3(gudamegu 3)
4bz	躰(つまず)く(石に;初戦で)	0(-'zugu)	0(-'zugu)	0(-'zugu)	0(-zugu)	3(cumakuru 3)(OK)	3	x(kecumagu 3)
4bz	出歩く(外を)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3	<m>3(dede_arugu 2+2)
4bz	でしゃばる(関係ないことに)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3	3(-'b-)
4bz	手伝う(仕事を)	3(-zu'dau)	3(-zu'dau)	3(-zu'dau)	3(-zudaru)	3(-zudaru)	3(-ru)	3(-zu'daru)
4bz	手渡す(直接～)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	<m>3(-d-), <普>wadasu 0
4bz	留(とど)まる(そこに)[止]	0(-d-)	0(-d-)	<m>0,3,(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	<m>3(-d-), <普>tomaru 0
4bz	取り出す(財布から)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-),<普>toru 1
4bz	尖(とんが)る(先が;興奮[とがる])	3(-Nnga-; mugureru 0)[2(-ng-)]	3(-Nnga-)[<m>2]	3(-Nnga-x)[<m>2(-ng-)]	3(-Nnga-; mucukeru 3)[2(-ng-)]	3(-Nnga-)[2(-ng-)]	3(-Nnga-)[2(-ng-)]	2(tongaru)
4bz	長引く(風邪;話し合いが ^ス)	3(-nga'bigu)	3(-nga'bigu)	3(-nga'bigu)	3(-ngabigu)	3(-ngabigu)	3(-ng-)	3(-nga'bigu)
4bz	悩ます(頭を)	3	3	3	3	3	3	<m>3
4bz	匂わす(それとなく)	3	3	3	0(OK)	3	3	<m>3
4bz	寝過ごす	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-,nehoreru 3)	3(-ng-,nehoreru 2)<寝惚れる
4bz	のさばる(態度)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3(-'b-)	3	3(-'b-)
4bz	捗(はかど)る(仕事が ^ス)	3(-ga'do-), haga_igu 2+0	3(-ga'do-), haga_igu 2+0	3(-ga'do-), haga_igu 2+0	3(-gado-), haga_igu 2+0	3(-gado-), haga_igu 2+0	3,hage_igu 2+0 (OK)	3(-ga'do-),hageru 2,<m>haga_igu 2+0
4bz	励ます(元気になるよう)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	<m>3(-ng-)
4bz	挟まる(歯に;両者の間に)	3	3	3	3	3	3	3
4bz	始まる(9時に;喧嘩が ^ス)	0(-'zu-)	0(-'zu-)	0(-'zu-)	0(-'zi-)	0(-'zi-)	0	0(-'zi-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	働く [かせぐ]	0(-daragu) [kasjengu 2]	0(-daragu) [kasjengu 2]	0(-daragu.人では なく, betta 1《め んこ》に言った. その強いのが hadarakiko 2) [kasjengu 2.金は 無関係]	0(-daragu) [kahengu 2]	0(-daragu) [kahengu 2]	0(kasengu 2)	0(-daragu) [kahengu 2]
4bz	齒向かう(相手に)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-gau)	3(-garu)	<m>3(-u)	3(-garu)
4bz	ばらまく(金;ピラを)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3	3(-gu)
4bz	春めく	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3	<m>3(-gu)
4bz	捻(ひね)くる(言い方を)	3(-k-)	3(-g-)	3(-k-) Cf. hinekureru, -g- 4	3(-k-)	3(-k-),cunekuru 3	3(-k-)	<m>3(-k-)
4bz	冷やかす(店;人を)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	x;3(-g-)	3(-g-)	x(cjaksu 2)
4bz	閃(ひらめ)く(頭に;光が)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3	<m>3(-gu)
4bz	広がる(幅;衆;視野が)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)
4bz	広まる(噂が)	0	0	0	0	0	0	0
4bz	膨らむ(餅;胸;夢が)[脹]	0(-g-)	0(-g-)	0(-g-)	0(-g-)	0(-g-)	0	0(-g-)
4bz	塞(ふさ)がる(道;部屋が)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-),hutangaru 0	0(-ng-)	0(-ng-)	0(-ng-)
4bz	ぶち込む(牢屋に;大砲を)	3(-cuko-)	3(-cuko-)	3(-cuko-; <o>->zugo-)	3(-ciko-)	3(-ciko-)	3	3(-ciko-)
4bz	ぶつかる(肩;車;意見が;壁 に;日程)	3(-cuka-)	3(-cuka-)	3(-cuka-)	3(-cuka-)	3(-cuka-)	3	3(-cuka-)
4bz	ふらつく(体が)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0	0(-cugu)
4bz	ぶらつく(町を;鉦が)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	0(-cugu)	3(-cugu)(OK)	0	3(-cugu)(OK)
4bz	震わす(声;肩を)	0	x	0	0	3(OK)	0	x(jucingasu 0)
4bz	踏ん張る(土俵際で;頑張る)	3	3	3	3	3	3	3
4bz	凹(へこ)ます(指で;腹;相手 を)	0(-k-)	0(-k-)	0(-k-), <普>hekomaseru 0	0(-k-)	3(-k-)(OK)	0	3(-k-), <普>hekomahteru 4
4bz	べたつく(糊;汗で;男女が)	0(bedazugu)	0(-dacugu)	0(-dacugu,<o>->-z-)	3(-dazugu)(OK)	3(-dacugu)(OK)	0	0(-tacugu)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	はき出す(口から)	1,3.(hogi~dasu)	1(hogi~dasu)	<普>1 (hogi~dasu), hagi~dasuなら3	x(hagi~dasu 3)	x(hagi~dasu 3)	x(hagi~dasu 3)	x
4bz	欲しが ^る	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)	3(-ng-)
4bz	ほじくる(鼻;隅;欠点を)	3(-~zuku-)	3(-~zugu-)	3(-~zugu-, -~cuku-)	3(-~ciku-)	3(-~ziku-)	3(ho~cikuru)	3(-~ciku-)
4bz	賄(まかな)う(食事を;なん とか)	3(-ganau)	3(-ganau)	3(-ganau)	3(-ganau)	3(-ganau)	3(-ru. 支度する 意)	<m>3(mamasitagu- su 4+0)
4bz	まごつく(不馴れで)	0(-ngozugu)	0(-ngocugu)	0(-ngocugu, <o>-zugu)	0(-ngocugu)	3(-ngocugu)(OK)	0(-ng-)	0(-ngocugu)
4bz	跨(また)がる(馬;2県に)	3(-danga-)	3(-danga-)	3(-danga-)	3(-danga-)	3(-danga-)	3(-ng-)	0(-danga-)(OK)
4bz	間違(う)道;計算を)	3(-zunga-)	3(-zunga-)	3(-zunga-)	3(-zingaru)	3(-zingaru)	3(-ngaru)	3(-zingaru)
4bz	纏(まつ)わる(話)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-cu-)	3(-zu-)	3	x
4bz	纏(まと)まる(クラス;考え; 縁談が ^る)	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0(-d-)	0	0(-d-)
4bz	間に合う(バスに;千円で)	3	3	3	3(-ru)	3(-ru)	3(-ru)	3(-ru)
4bz	丸まる(背中が ^る)	0	0	0	<m>0	0	0	0
4bz	見当たる(鍵が ^る)	3(-d-)	3(-d-. 否定形で)	3(-d-. 否定形で)	3(-d-)	3(-d-)	3	<m>3(-d-), micukaru 3, micukane 4
4bz	見送る(駅で;採決を)	3(-g-)	0(-g-)(OK)	3,0;<n>0,(-g-)	0(-g-)(OK)	3(-g-)	3	<m>3(-g-), <普>oguru 0
4bz	見落とす(間違いを)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3(-d-)	3	3(-d-),miha~zusu 3
4bz	見通す(先まで;将来を)	2(-d-)	2(-d-)	2(-t-,<o>-d-,名 詞はmido:su 0の み)	0(-t-)(OK)	2(-d-)	0(-d-)(OK)	<m>2(-t-,名詞は <普>mi~do:su 0)
4bz	向き合う(互いに;現実(- むずかる(赤坊が ^る)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-g-)	3(-ru)	3(-g-)
4bz		0(mu~zugaru, mu~zukeru(OK), go~bokeru 3)	0(-~zunga-)(OK)	0(-~zunga-, -~cuka-が)	0(-~zuga-)	3(-~zuga-)(OK)	0(mu~cukaru, -~zuga-)	0(-~zuga-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
4bz	儲(もう)かる(金が)	2(mogaru), sjo: 'bu_cukeru (勝負付ける) 1+2	3(mogaru 2とも)	3(mogaru 2とも)	3(mogaru)	3(mogaru)	3(mogaru 2)	<m>3(mogaru 2) (OK)
4bz	もぎ取る(りんご, 靴を)	3(-ngito-), mongu 1	3(-ngito-)	3(-ngito-), mongu 1; toru 1	3(-ngito-)	x(mongu 1)	3(-ngido-)	<m>3(-ngito-), <普>mongu 1
4bz	持ち寄る(みんなで)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-zu-)	3(-zi-)	3(-zi-)	3(-zi-)	3(-zi-)
4bz	催す(便宜; 眠気を)	3	3(mojohosu)(OK)	3(会を～は標準 語)	3	2(mojosu)	<m>3	<m>0(ikitegu, naru 0+1, 行きた くなる)
4bz	役立つ(仕事; 社会に)	3(jagu'dazu)	3(jagu'dazu)(OK)	3(jagu'dazu)	3(jagudazu)	3(jagudazu)	3	3(jagudazu)
4bz	養う(妻子; 親; 家畜を)	0; 0; azugau 0	<m>0, 3, azugau 0	<m>0, 3, azugau 0	3(-u), azugau 0	3, 0, (-ru), azugau 0	<m>0(-u), azugau 0	<m>0(kaderu 2)
4bz	休まる(体; 気が)[安]	3	3	3	3	3	3	<m>3(raguni, naru 2+1)
4bz	やらかす(とんでもないこと を)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-, <o>-g-)	0(-g-)(OK)	3(-g-)	0(-g-)(OK)	x(jaru 0)
4bz	揺さぶる(木; 気持; 打者を)	0(-b-)	0(-b-)	0(-b-)	0(-b-), jucungasu 3	0(-b-), jucungasu, jucungasu 0	0	x(jucungasu 0)
4bz	欲張る	3(-gu'ba-)	3(-gu'ba-)	3(-gu'ba-)	3(-guba-)	3(-guba-)	3(-guba-)	3(-guba-)
4bz	横切る(道; 一瞬頭を)	3(-gongi-)	3(-gongi-)	3(-gongi-; <n>jongiru 2)	3(-gongi-)	3(-gongi-)	3(-gongi-)	3(-gongi-)
4bz	寄り切る(相撲)	3(-g-)	3(-g-)	3(-k-, <o>-g-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)
4bz	喜ぶ	3(-go'bu)	3(-go'bu)	3(-go'bu)	3(-go'bu)	3(-go'bu)	3	3(-go'bu)
4bz	よろめく(歩き; 浮気)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)	3(-gu)
4bz	弱まる(風が)	3	3	3	3	3	3	3
4bz	割り切る(仕事と; 割り算)	3(-g-)	3(-g-)	3(-k-, <o>-g-; -kiteru 4)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)	3(-k-)
5bz	恐れ入る(恐縮; 参る)	2	2	2	2+1(OK)	2	2+0(OK)	<m>2?
5bz	思い切る(決心; 断念)	2(-k-)	2+1(-k-), 2, 4(-g-). 思い切って(副) 2, 4, (-k-).	2(-k-, <x>-g-). 断 念は<m>	4(-k-)	4(-k-)	4(-k-)	4(-k-)

類	項目	盛岡	雫石	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
5bz	思い出す(昔;用を)	2,4.(-d-)	2(-d-)	2(-d-).思い始める意は4	4(-d-)	4(-d-)	4(-d-)	4(-d-)
5bz	かつばらう(金を)	3	3	3	4(-u)	4(-ru)	4(-ru)	<m>3(-ru)(名詞はkappara 3のみ)
5bz	蹴っ飛ばす(足で)[→蹴飛ばす]	3(-to`ba-), keppanguru 4	3,1.(-to`ba-)[x]	3,1.(-to`ba-)[<m>2]	4(-ba-)[3]	4(-ba-)[ketobasu 3]	4[3]	x[keto`basu 2]
5bz	けつまずく(石に)	keccuma`zugu 1,5	keccuma`zugu 5,1	keccuma`zugu 5,1	4(keccuma`zugu)	4(keccuma`zugu)	0(OK)	x(keccuma`zugu 3)
5bz	反り返る(体;板が)	3(-gE-)	3(-gae-)	3,1.<o>-ge-	3(-kae-)	3(-ke-)	3	3(-ge-)
5bz	叩き割る(ガラスを)	2(-dagi-)	2(-dagi-)	2(-dagi-)	4(-dagi-)	4(-dagi-)	2か?	4(-dagi-)
5bz	取り除ける(邪魔物を;それだけ別に)	4(-g-tonoguru 1)	4(-g-tonoguru 1)	4(tonoguru 1)	4(-k-).torikeru (OK) 3	4(-ge-), jogeru 2	4	<m>4(-g-), toroguru(OK) 3
5bz	跳ね回る(子供が)	2(hanemaru)	2(hanemawaru)	2(hanemaru)	2(hadagemaru)	4	4	2(hanemawaru)
5bz	干からびる(かさかさに)	2(-kara`bi-)	2(-kara`bi-)	2,4.(-kara`bi-)	1(hikkarabiru)	4(-karabi-)	4	2(sikara`bi-)
5bz	酔っ払う	3, jottagureru 3	3, jottagureru 3	3, jottagureru 3	4(-rau), jokkiru 3	4(-ru)	4(-ru)	4(-ru), jottageru 4
6bz	叩きつける(敵を;雨が)	2(tadagizuguru)	5(-dagicuke-)	2,5.(-dagicuke-)	5(-dagicuke-)	5(tadagizuguru)	5(-dagicuke-)	5(-dagicuke-)
6bz	引っ張り出す(中から;役員に)	5,3.(-d-)	5,3.(-d-)	5,3.(-d-)	5(-d-)	5(-d-)	5	5(hupparida-)
7bz	煮えくり返る(腹わた;湯が)	5(nuegurigEru)	5(nuegurikaeru)	5(nuegurigeru)	6(niekurikae-)	5(niegunigae-)	5	5(niegunigae-)
7bz	引っ張り回す(あちこち)	6	6	6,3	6	6	6	6(hu-)

表 2 北奥方言動詞活用形のアクセント資料

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2a1	着る	0(kiru)	0(kiru)	0(kiru)	0(kiru)	0(kiru)	0(kiru)
	着るとき	0(kiru_dogi 0+2)	0(kiru_zugi_dogi 0+2)	0(kiru_togi 0+2)	0(kiru_dogi 0+2)	0(kiru_dogi 0+2)	0(kiru_dogi 0+2)
	着た	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)
	着たとき	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)	0(kita)
	着て	0(kite)	0(kite)	0(kite)	0(kite)	0(kite)	0(kite)
	着るな	3(kiruna, <m>kiNna)	3, 0.(kiruna)	2(kiruna)(OK)	2(kina), 3(kiruna)	3(kiruna)	2(kina)
	着ない	0(kinE)	0(kine)	0(kine)	0(kine)	0(kinai)	0(kine)
	着ろ	0(kiro)など	0(kiro)	0(kiro)	0(kise 女性; kiro 男性), 以下「」は同様に	2(kiro)	0, 2.(kire; kiro)
	寝る	0(neru)	0 Cf. 1(neru <寝入る> 5段)	0(neru)	0(neru)	0(neru)	0(neru)
	寝るとき	0(neru)	0 Cf. 1(neru)	0(neru)	0(neru)	0(neru)	0(neru)
2a1	寝た	0(neda)	0(neda) Cf. 1(netta)	0(neda)	0(neda)	0(neda)	0(neda)
	寝たとき	0(neda)	0(neda) Cf. 1(netta)	0(neda)	0(neda)	0(neda)	0(neda)
	寝て	0(nede)	0(nede) Cf. 1(nette)	0(nede)	0(nede)	0(nede)	0(nede)
	寝るな	3(neruna, <m>neNna)	3, 0.(neruna) Cf. 1(neruna)	2(neruna)(OK)	2(nena), 3(neruna)	2(nena), 3(neruna)	2(nena)
	寝ない	0(nenE)	0(nene) Cf. 1(nerane)	0(nene)	0(nene)	0(nenai)	0(nene)
	寝ろ	0(nero)	0(nero) Cf. 1(nere)	0(nero)	0(nese; nero)	2(nero)	0, 2.(nere; nero)
	居(い)る	0(eru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)
	居るとき	0(eru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)	0(iru)
	居た	0(eda)	0(ida)	0(ida)	0(ida)	0(ida)	0(ida)
	居たとき	0(eda)	0(ida)	0(ida)	0(ida)	0(ida)	0(ida)
2c1	居て	0(ede)	0(ide)	0(ide)	0(ide)	0(ide)	0(ide)
	居るな	3(erunaのみ)	3, 0.(iruna)	2(iruna)	2(ina), 3(iruna)	3(iruna)	2(ina)
	居ない	0(enE)	0(ine)	0(ine)	0(ine)	0(inai)	0(ine)
	居ろ	0(ero)	0(iro)	0(iro)	0(ise; iro)	2(iro)	0, 2.(ire; iro)
	する	0(su)	0(su)	0(su, suru)	0(suru)	0(suru)	0(su)
	するとき	0(su)	0(su)	0(suruのみ)	0(suru)	0(suru)	0(su)
	した	0(suta)	0(sjita)	0(sita)	0(sita)	0(sita)	0(sita)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2a2	したとき	0(suta)	0(sjita)	0(sita)	0(sita)	0(sita)	0(sita)
	して	0(sute)	0(sjite)	0(site)	0(site)	0(site)	0(site)
	するな	2(suna)	2,0.(suna)	1(suna)(OK),2(suruna)	2(suna,sina),3(suruna)	2(suna)	2(suna)
	しない	0(sanE,sunE)	0(sane)	0(sane,sinai)	0(sane,sine)	0(sinai)	0(sane,sine)
	しろ	0(sje)	0(se,<o>sje)	0(se,siro)	0(sise,siro)	2(siro),1(se)	0,1.(he,se)
	出る [デハル]	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[2(deharu)]	1[2(deharu)]
	出るとき	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[<普>2(deharu)]	1[2(deharu)]	1[2(deharu)]
	出た	1,2.(deda)	2(deda)	1(deda)	1(deda)	1(deda)(OK)	2(deda)[2(dehatta)(OK)]
	出たとき	[<普>2,4.(dehatta)]	[<普>4,2.(dehatta)]	1(deda)	1(deda)	1(deda)(OK)	2(deda)[2(dehatta)(OK)]
	出て	[<普>2,4.(dehatta)]	[<普>4,2.(dehatta)]	1(dede)	1(dede)	1(dede)(OK)	2(dede)[2(dehatta)(OK)]
2a2	出るな	1[<普>2(dehatte)]	1(dede)	1(dede)	1(dede)	1(dede)(OK)	2(dede)[2(dehatta)(OK)]
		1(deruna,<m>deNna)	1(deruna)	1(deruna)	1(dena)	1(deruna)	1(dena)[2(deha(ru)na)]
		[<普>2 (deharuna,<m>dehaNna)]	[<普>2(deharuna)]		[<普>2(deha(ru)na)]		
	出ない	2(denE)	2(dene)	2(dene)	2(dene)	2(denai)	2(dene)[3(dehane)]
		[<普>4(deharanE)]	[<普>4,2.(deharane)]		[<普>3(dehane)]		
	出ろ	1(dero)	1(dero)	1(dero)	2(dese),1(dero)[<普>3(dehase),2(dehare)]	2(dero)	2(dere;dero)[3(dehare)]
		[<普>2(dehare)]	[<普>2(dehare)]				
	見る	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)
	見るとき	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)	1(miru)
	見た	1,2.(mida)	2(mida)	1(mida)	1(mida)	2(mida)	2(mi'da)(OK)
2d2	見たとき	1,2.(mida)	2(mida)	1(mida)	1(mida)	2(mida)	2(mi'da)
	見て	1,2.(mide)	2,1.(mide)	1(mide)	1(mide)	2(mide)	2(mi'de)(OK)
	見るな	1(miruna,<m>miNna)	1(miruna)	1(miruna)	1(mina,miruna)	1(miruna)	1(mina)
	見ない	2(minE)	2(mine)	2(mine)	2(mine)	2(minai)	2(mine)
	見ろ	1(miro)	1(miro)	1(miro)	2(mise),1(miro)	2(miro)	2(mire;miro)
	来る	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)
	来るとき	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)	1(kuru)
	来た	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)
	来たとき	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)	2(kita)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2b1	来て	2(kite)	2(kite)	2(kite)	2(kite)	2(kite)	2(kite)
	来るな	1(kuruna,<m>kuna (OK))	1(kuruna)	1(kuruna)	1(kuna,kuruna)	1(kuruna)	1(kuna)
	来ない	2(kone)	2(kone)	2(kone)	2(kone)	2(konai)	2(kone)
	来い	1(ko)	1(koi,<o>ko)	1(koi)	2(kase)(OK),1(koi)	1(koi)	1(koi)[<x>ko]
	行く	0(egu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)
	行くとき	0(egu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)	0(igu)
	行った	0(etta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)
	行ったとき	0(etta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)	0(itta)
	行って	0(ette)	0(itte)	0(itte)	0(itte)	0(itte)	0(itte)
	行くな	3(eguna)	3,0.(iguna)	2(iguna)(OK)	3(iguna)	3(iguna)	3(iguna)
2b1	行かない	0(eganE)	0(igane)	0(igane)	0(igane)	0(iganai)	0(igane)
	行け	0(ege)	0(ige)	0(ige)	0(igase;ige)	2(ige)	0,2.(ige)
	売る	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)
	売るとき	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)	0(uru)
	売った	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)
	売ったとき	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)	0(utta)
	売って	0(utte)	0(utte)	0(utte)	0(utte)	0(utte)	0(utte)
	売るな	3(uruna,<m>uNna)	3,0.(uruna)	2(uruna)(OK)	2(una),3(uruna)	3(uruna)	2(una)
	売らない	0(uranE)	0(urane)	0(urane,une)	0(urane)	0(uranai)	0(une)
	売れ	0(ure)	0(ure)	0(ure)	0(ure;ure)(OK)	2(ure)	0,2.(ure)
2b1	買う	0(kau)	0(kau)	0(karu)	0(karu)	0(karu)	0(karu)
	買うとき	0(kau)	0(kau)	0(karu)	0(karu)	0(karu)	0(karu)
	買った	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)
	買ったとき	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)	0(katta)
	買って	0(katte)	0(katte)	0(katte)	0(katte)	0(katte)	0(katte)
	買うな	3(kauna)	3,0.(kauna)	2(kauna)(OK)	2(kana),3(karuna)	3(kauna)(OK)	3(karuna)
	買わない	0(kawanE)	0(kawane)	0(kawane)	0(kane,kawane)	0(kawanai)	0(kane)
	買え	0(kae)	0(kae)	0(kae,<m>kare)	0(kase;kare)(OK)	2(kae)	0,2.(kare)
	置く	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)
	置くとき	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)	0(ogu)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2b1	置いた	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)
	置いたとき	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)	0(oida)
	置いて	0(oide)	0(oide)	0(oide)	0(oide)	0(oide)	0(oide)
	置くな	3(oguna)	3,0.(oguna)	2(oguna)(OK)	3(oguna)	3(oguna)	3(oguna)
	置かない	0(oganE)	0(ogane)	0(ogane)	0(ogane)	0(oganai)	0(ogane)
	置け	0(oge)	0(oge)	0(oge)	0(ogase;oge)	2(oge)	0,2.(oge)
	押す	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)
	押すとき	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)	0(osu)
	押した	0(osuta)	0(osjita)	0(osita)	0(osita)	0(osita)	0(osita)
	押したとき	0(osuta)	0(osjita)	0(osita)	0(osita)	0(osita)	0(osita)
	押して	0(osute)	0(osjite)	0(osite)	0(osite)	0(osite)	0(osite)
	押すな	3(osuna)	3,0.(osuna)	2(osuna)(OK)	3(osuna)	3(osuna)	3(osuna)
	押さない	0(osanE)	0(osane)	0(osane)	0(osane)	0(osanai)	0(osane)
	押せ	0(osje)	0(ose)	0(ose)	0(osise;ose)(OK)	2(ose)	0,2.(ohe)
2b1	飛ぶ	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(-b-)	0(to ⁻ bu)
	飛ぶとき	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(to ⁻ bu)	0(-b-)	0(to ⁻ bu)
	飛んだ	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)
	飛んだとき	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)	0(toNda)
	飛んで	0(toNde)	0(toNde)	0(toNde)	0(toNde)	0(toNde)	0(toNde)
	飛ぶな	3(to ⁻ buna)	3,0.(to ⁻ buna)	2(to ⁻ buna)(OK)	3(to ⁻ buna)	3(tobuna)	3(to ⁻ buna)
	飛ばない	0(to ⁻ banE)	0(to ⁻ bane)	0(to ⁻ bane)	0(to ⁻ bane)	0(tobanai)	0(to ⁻ bane)
	飛ば	0(to ⁻ be)	0(to ⁻ be)	0(to ⁻ be)	0(to ⁻ base;to ⁻ be)	2(tobe)	0,2.(to ⁻ be)
	会う【行き会う】	1(au)[3(igiau)]	1(au)[<o>3(igiau)]	1(au)	1(au)	1(au)	1(aru)[3(igiaru)]
	会うとき	1(au)[3(igiau)]	1(au)[<o>3(igiau)]	1(au)	1(au)	1(au)	1(aru)[3(igiaru)]
	会った	1,3.(atta)	3(atta)[<o>5(igiatra)]	1(atta)	3(atta)	3(atta)	3(atta)[5(igiatra)]
	会ったとき	3(atta)	3(atta)[<o>5(igiatra)]	1(atta)	3(atta)	3,1.(atta)	3(atta)[5(igiatra)]
	会って	1(atte)	1(atte)[<o>3(igiatte)]	1(atte)	3(atte)	3(atte)	3(atte)[5(igiatte)]
	会うな	1(auna)[3(igiauna)]	1[<o>3(igiauna)]	1(auna)	1(auna)	1(auna)	1(aruna)[3(igiaruna)]
	会わない	3(awanE)	3(awane)	3(awane)	3(awane)	3(awanai)	3(awane)[4(igiane)]
2b2	会え	1(ae)	1[<o>5(igawane)]	1(ae)	3(awase);1(ac)	2(ac)	2(are)[4(igiare)]

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2b2	打つ	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)
	打つとき	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)	1(uzu)
	打った	1,3,(utta)	3(utta)	1(utta)	3(utta)	3(utta)	3(utta)
	打ったとき	3(utta)	3(utta)	1(utta)	3(utta)	3,1,(utta)	3(utta)
	打って	1(utte)	1(utte)	1(utte)	3(utte)	3(utte)	3(utte)
	打つな	1(uzuna)	1(uzuna)	1(uzuna)	1(uzuna)	1(uzuna)	1(uzuna)
	打たない	3(udanE)	3(udane)	3(udane)	3(udane)	3(udanai)	3(udane)
	打て	1(ude)	1(ude)	1(ude)	3(udase);1(ude)	2(ude)	2(ude)
	書く	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)
	書くとき	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)	1(kagu)
2b2	書いた	1(kEda)	1(kaida,<o>keda)	1(kaida)	1(kaida)	1(kaida)	1(kaida)
	書いたとき	1(kEda)	1(kaida,<o>keda)	1(kaida)	1(kaida)	1(kaida)	1(kaida)
	書いて	1(kaide,kEdE)	1(kaide,<o>kede)	1(kaide)	1(kaide)	1(kaide)	1(kaide)
	書くな	1(kaguna)	1(kaguna)	1(kaguna)	1(kaguna)	1(kaguna)	1(kaguna)
	書かない	3(kaganE)	3(kagane)	3(kagane)	3(kagane)	3(kaganai)	3(kagane)
	書け	1(kage)	1(kage)	1(kage)	3(kagase);1(kage)	2(kage)	2(kage)
	取る	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)
	取るとき	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)	1(toru)
	取った	1,3,(totta)	3(totta)	1(totta)	3(totta)	3(totta)	3(totta)
	取ったとき	3(totta)	3(totta)	1(totta)	3(totta)	3(totta)	3(totta)
2b2	取って	1(totte)	1(totte)	1(totte)	3(totte)	3(totte)	3(totte)
	取るな	1(toruna,<m>toNna)	1(toruna)	1(toruna,tona)	1(tona,toruna)	1(toruna)	1(tona)
	取らない	3(toranE)	3(torane)	3(torane),2(tona)	3(torane),2(tona)	3(toranai)	2(tona)
	取れ	1(tore)	1(tore)	1(tore)	2(tose);1(tore)(OK)	2(tore)	2(tore)
	読む	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)
	読むとき	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)	1(jomu)
	読んだ	1,3,(joNda)	3,1,(joNda)	1(joNda)	1(joNda)	3(joNda)	3(joNda)
	読んだとき	3(joNda)	3(joNda)	1(joNda)	1(joNda)	3(1もか),(joNda)	3(joNda)
	読んで	1(joNde)	1(joNde)	1(joNde)	1(joNde)	3(joNde)	3(joNde)
	読むな	1(jomuna)	1(jomuna)	1(jomuna)	1(jomuna)	1(jomuna)	1(jomuna)
	読まない	3(jomanE)	3(jomane)	3(jomane)	3(jomane)	3(jomanai)	3(jomane)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
2bx	読め	1(jome)	1(jome)	1(jome)	3(jomase);1(jome)	2(jome)	2(jome)
	出す	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)
	出すとき	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)	1(dasu)
	出した	1(dasuta)	1(dasjita)	1(dasita)	1(dasita)	1(dasita)	1(dasita)
	出したとき	1(dasuta)	1(dasjita)	1(dasita)	1(dasita)	1(dasita)	1(dasita)
3a1	出して	1(dasute)	1(dasjite)	1(dasite)	1(dasite)	1(dasite)	1(dasite)
	出すな	1(dasuna)	1(dasuna)	1(dasuna)	1(dasuna)	1(dasuna)	1(dasuna)
	出さない	3(dasanE)	3(dasane)	3(dasane)	3(dasane)	3(dasanai)	3(dasane)
	出せ	1(dasje)	1(dase)	1(dase)	3(dasise);1(dase)(OK)	2(dase)	2(dahe)
	着せる	0(kisjeru)	0(kis(j)eru)	0(kiseru)	0(<普>kisheru, kisjeru, kiseru も. 以下 kisheru で)	0(kiseru)	0(kisheru)
3a1	着せるとき	0(kisjeru)	0(kis(j)eru)	0(kiseru)	0(kisheru)	0(kiseru)	0(kisheru)
	着せた	0(kisjeda)	0(kis(j)eda)	0(kiseda)	0(kiheda)	0(kiseda)	0(kiheda)
	着せたとき	0(kisjeda)	0(kis(j)eda)	0(kiseda)	0(kiheda)	0(kiseda)	0(kiheda)
	着せて	0(kisjede)	0(kis(j)ede)	0(kisede)	0(kihede)	0(kisede)	0(kihede)
	着せるな	4(kisjeruna, <m>kisjeNna)	4, 0. (kis(j)eruna)	3(kiseruna)(OK)	3(kihena), 4(kiheruna)	4(kiseruna)	3(kihena)
3a1	着せない	0(kisjenE)	0(kis(j)ene)	0(kisene)	0(kihene)	0(kisenai)	0(kihene)
	着せろ	0(kisjero)	0(kis(j)ero)	0(kisero)	0(kihese;kihero)	2(kisero)	0, 3. (kihere;kihero)
	曲げる	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)
	曲げるとき	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)	0(mangeru)
	曲げた	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)
3a2	曲げたとき	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)	0(mangeda)
	曲げて	0(mangede)	0(mangede)	0(mangede)	0(mangede)	0(mangede)	0(mangede)
	曲げるな	4(mangeruna, <m>mangeNna)	4, 0. (mangeruna)	3(mangeruna)(OK)	3(mangena), 4(mangeruna)	4(mangeruna)	3(mangena)
	曲げない	0(mangenE)	0(mangene)	0(mangene)	0(mangene)	0(mangenai)	0(mangene)
	曲げろ	0(mangero)	0(mangero)	0(mangero)	0(mangese;mangero)	3(mangero)	0, 3. (mangere;mangero)
3a2	建てる	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)
	建てるとき	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)	2(taderu)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
3a2	建てた	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)
	建てたとき	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)	2(tadeda)
	建てて	2(tadede)	2(tadede)	2(tadede)	2(tadede)	2(tadede)	2(tadede)
	建てるな	2(taderuna, <m>tadeNna)	2(taderuna)	2(taderuna)	2(tadena)	2(taderuna)	2(tadena)
	建てない	3(tadene)	3(tadene)	3(tadene)	3(tadene)	3(tadenai)	3(tadene)
	建てろ	2(tadero)	2(tadero)	2(tadero)	3(tadese),2(tadero)	3(tadero)	3(tadere;tadero)
	伸びる	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(nobiru)	2(no ¹ biru)
	伸びるとき	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(no ¹ biru)	2(nobiru)	2(no ¹ biru)
	伸びた	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(nobida)	2(no ¹ bida)
	伸びたとき	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(no ¹ bida)	2(nobida)	2(no ¹ bida)
3ax	伸びて	2(no ¹ bide)	2(no ¹ bide)	2(no ¹ bide)	2(no ¹ bide)	2(nobide)	2(no ¹ bide)
	伸びるな	<m>2(no ¹ biruna, no ¹ biNna)	2(no ¹ biruna)	2(no ¹ biruna)	2(no ¹ bina)	2(nobiruna)	2(no ¹ bina)
	伸びない	3(no ¹ bine)	3(no ¹ bine)	3(no ¹ bine)	3(no ¹ bine)	3(nobinai)	3(no ¹ bine)
	伸びろ	2(no ¹ biro)	2(no ¹ biro)	2(no ¹ biro)	3(no ¹ bise),2(no ¹ biro)	3(nobiro)	3(no ¹ bire;no ¹ biro)
	出来る	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)
	出来るとき	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)	2(degiru)
	出来た	2(degida)	2(degida)	2(degida)	2(degida)	2(degida)	2(degida)
	出来たとき	2(degida)	2(degida)	2(degida)	2(degida)	2(degida), 3(dekita)	2(degida)
	出来て	2(degide)	2(degide)	2(degide)	2(degide)	2(degide)	2(degide)
	出来るな*	<m>2(degiruna)	<m>2(degiruna)	<m>2(degiruna)	x	<m>2(degiruna)	<m>2(degiruna)
3b1	出来ない	3(deginE)	3(deginE)	3(deginE)	3(deginE)	3(deginai)	3(deginE)
	出来るろ*/起きろ	x	x2(degiro)(願望で)	x	x/3(ogise)2(ogiro)	x	//3(ogire;ogiro)
	送る	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)
	送るとき	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)	0(oguru)
	送った	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)
	送ったとき	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)	0(ogutta)
	送って	0(ogutte)	0(ogutte)	0(ogutte)	0(ogutte)	0(ogutte)	0(ogutte)
	送るな	4(oguruna, <m>ogruNna)	4,0.(oguruna)	3(oguruna)(OK)	3(oguna)	4(oguruna), <m>3(oguna)	3(oguna)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
3b1	送らない	0(oguranE)	0(ogurane)	0(ogurane, ogune)	0(ogune, ogurane)	0(oguranai, <m>ogune)	0(ogune)
	送れ	0(ogure)	0(ogure)	0(ogure)	0(oguse, ogure)(OK)	3(ogure)	0(ogure)
	続く	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cuzugu)	0(cu~zugu)
	続くとき	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cu~zugu)	0(cuzugu)	0(cu~zugu)
	続いた	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cuzuida)	0(cu~zuida)
	続いたとき	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cu~zuida)	0(cuzuida)	0(cu~zuida)
	続いて	0(cu~zuide)	0(cu~zuide)	0(cu~zuide)	0(cu~zuide)	0(cuzuide)	0(cu~zuide)
	続くな	4(cu~zuguna)	4, 0, (cu~zuguna)	3(cu~zuguna)(OK)	4(cu~zuguna)	4(cuzuguna)	4(cu~zuguna)
	続かない	0(cu~zugaNE)	0(cu~zugane)	0(cu~zugane)	0(cu~zugane)	0(cuzuganai)	0(cu~zugane)
	続け	0(cu~zuge)	0(cu~zuge)	0(cu~zuge)	0(cu~zuge; cu~zuge)	3(cuzuge)	0(cu~zuge)
3b1	並ぶ	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(narabu)	0(nara~bu)
	並ぶとき	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(nara~bu)	0(narabu)	0(nara~bu)
	並んだ	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)
	並んだとき	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)	0(nara~nda)
	並んで	0(nara~nde)	0(nara~nde)	0(nara~nde)	0(nara~nde)	0(nara~nde)	0(nara~nde)
	並ぶな	4(nara~buna)	4, 0, (nara~buna)	3(nara~buna)(OK)	4(nara~buna)	4(nara~buna)	4(nara~buna)
	並ばない	0(nara~banE)	0(nara~bane)	0(nara~bane)	0(nara~bane)	0(narabanai)	0(nara~bane)
	並べ	0(nara~be)	0(nara~be)	0(nara~be)	0(nara~base; nara~be)	3(narabe)	0(nara~be)
	笑う	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)
	笑うとき	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)	0(warau)
3b1	笑った	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)
	笑ったとき	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)	0(waratta)
	笑って	0(waratte)	0(waratte)	0(waratte)	0(waratte)	0(waratte)	0(waratte)
	笑うな	0(warauna)	4, 0, (warauna)	3(wararuna)(OK)	3(wararuna), 4(wararuna)	4(warauna)	4(wararuna), 3(warana)
	笑わない	0(warawanE, waranE)	0(warawane, <m>warane)	0(warane, warawane)	0(warane, warawane)	0(warawanai)	0(warane, warawane)
	笑え	0(warae)	0(warae)	0(warae)	0(warae; warare)(OK)	3(warae)	0(warae)
	泳ぐ	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)
	泳ぐとき	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)	2(ojongu)
	泳いだ	2(ojoi~da)	2(ojoi~da)	2(ojoi~da)	2(ojo~nda)(OK)	2(ojoida)	2(ojoi~da)
	泳いだとき	2(ojoi~da)	2(ojoi~da)	2(ojoi~da)	2(ojo~nda)(OK)	2(ojoida)	2(ojoi~da)
3b2	泳いで	2(ojoi~de)	2(ojoi~de)	2(ojoi~de)	2(ojo~nde)(OK)	2(ojoida)	2(ojoi~de)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
3b2	泳ぐな	2(ojonguna)	2(ojonguna)	2(ojonguna)	2(ojonguna)	2(ojonguna)	2(ojonguna)
	泳が ^さ ない	4(ojonganE)	4(ojongane)	4(ojongane)	4(ojongane)	4(ojonganai)	4(ojongane)
	泳い ^ぎ ず	2(ojonge)	2(ojonge)	2(ojonge)	4(ojongase); 2(ojonge)	3(ojonge)	3(ojonge)
	下がる	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)
	下がるとき	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)	2(sangaru)
	下がった	2, 4.(sangatta)	4, 2.(sangatta)	2(sangatta)	2(sangatta)	4(sangatta)	4(sangatta)
	下がったとき	2, 4.(sangatta)	4, 2.(sangatta)	2(sangatta)	2(sangatta)	4(sangatta)	4(sangatta)
	下がって	2(sangatte)	2(sangatte)	2(sangatte)	2(sangatte)	4(sangatte)	4(sangatte)
	下がるな	2(sangaruna, <m>sangaNna)	2(sangaruna)	2(sangaruna)	2(sangana, sangaruna)	2(sangaruna, <m>sangana)	2(sangaruna)(OK)
	下がらない	4(sangaranE)	4(sangarane)	4(sangarane), 3(sangane)	3(sangane), 4(sangarane)	4(sangaranai, <m>sangane)	3(sangane)
3b2	下がれ	2(sangare)	2(sangare)	2(sangare)	3(sangase); 2(sangare)	3(sangare)	3(sangare)
	頼む	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)
	頼むとき	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)	2(tanomu)
	頼んだ	2, 4.(tanoNda)	4, 2.(tanoNda)	2(tanoNda)	2(tanoNda)	4(tanoNda)	4(tanoNda)
	頼んだとき	2, 4.(tanoNda)	4, 2.(tanoNda)	2(tanoNda)	2(tanoNda)	4(tanoNda)	4(tanoNda)
	頼んで	2(tanoNde)	2(tanoNde)	2(tanoNde)	2(tanoNde)	4(tanoNde)	4(tanoNde)
	頼むな	2(tanomuna)	2(tanomuna)	2(tanomuna)	2(tanomuna)	2(tanomuna)	2(tanomuna)
	頼まない	4(tanomanE)	4(tanomane)	4(tanomane)	4(tanomane)	4(tanomanai)	4(tanomane)
	頼め	2(tanome)	2(tanome)	2(tanome)	4(tanomase); 2(tanome)	3(tanome)	3(tanome)
	払う	2(harau)	2(harau)	2(harau)	2(harau, harau も)	2(harau)	2(harau)
3b2	払うとき	2(harau)	2(harau)	2(harau)	2(harau, harau も)	2(harau)	2(harau)
	払った	2, 4.(haratta)	4, 2.(haratta)	2(haratta)	2(haratta)	4(haratta)	4(haratta) Cf.dehatta 2
	払ったとき	2, 4.(haratta)	4, 2.(haratta)	2(haratta)	2(haratta)	4(haratta)	4(haratta) Cf.dehatta 2
	払って	2(haratte)	2(haratte)	2(haratte)	2(haratte)	4(haratte)	4(haratte) Cf.dehatta 2
	払うな	2(harauna, harona(OK))	2(harauna, <聞>harana)	2(harauna)	2(harana, harauna)	2(harauna, harana)	2(harauna)
	払わない	4(harawanE), 3(haranE)	4(harawane), 3(harane)	4(harawane), 3(harane)	3(harane)	4(harawanai), 3(harane)	3(harane)
	払え	2(harae)	2(harae)	2(harae)	3(harawase, harase. 前者がより優しい); 2(harae)	3(harae)	3(harae)

類	項目	盛岡	雫石(内省)	八戸	風間浦	弘前	五所川原
3b3	歩く【アサク】	2(arugu,arigu)は周辺部	2(arugu,<o>arigu)	2(arugu)	2(arugu,arigu)	2(asagu)	2(asagu)
	歩くとき	2(arugu)	2(arugu)	2(arugu)	2(arugu)	2(asagu)	2(asagu)
	歩いた	2,4.(arutta)	4,2.(arutta)	2(arutta)	2(arutta)	2(asaida)	2(asaida)
	歩いたとき	2,4.(arutta)	4,2.(arutta)	2(arutta)	2(arutta)	2(asaida)	2(asaida)
	歩いて	2(arutte)	2(arutte)	2(arutte)	2(arutte)	2(asaide)	2(asaide)
	歩くな	2(aruguna)	2(aruguna)	2(aruguna)	2(aruguna)	2(asaguna)	2(asaguna)
	歩かない	4(aruganE)	4(arugane)	4(arugane)	4(arugane)	4(asaganai)	4(asagane)
	歩け	2(aruge)	2(aruge)	2(aruge)	4(arugase);2(aruge)	3(asage)	3(asage)
	隠す	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)
	隠すとき	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)	2(kagusu)
3b3	隠した	2(kagusita)	2(kagusjita)	2(kagusita)	2(kagusita)	2(kagusita)	2(kagusita)
	隠したとき	2(kagusita)	2(kagusjita)	2(kagusita)	2(kagusita)	2(kagusita)	2(kagusita)
	隠して	2(kagusute)	2(kagusjite) Cf. 4*だと「隠したい」に-	2(kagusite)	2(kagusite)	2(kagusite)	2(kagusite)
	隠すな	2(kagusuna)	2(kagusuna)	2(kagusuna)	2(kagusuna)	2(kagusuna)	2(kagusuna)
	隠さない	4(kagusane)	4(kagusane)	4(kagusane,kakusane)	4(kagusane)	4(kakusanai)	4(kagusane)
	隠せ	2(kaguse)	2(kaguse)	2(kaguse)	4(kagusise);2(kaguse)	3(kaguse)	3(kaguse)
	入る	1(hEru)	1(heru)	1(heru)	1(heru)	1(hairu)	1(haru)(OK)
	入るとき	1(hEru)	1(heru)	1(heru)	1(heru)	1(hairu)	1(haru)
	入った	1,3.(hErtta)	1,3.(hetta)	1(hetta)	1(hetta)	1(haitta)	1(hatta)
	入ったとき	1(hErtta)	1,3.(hetta)	1(hetta)	1(hetta)	1(haitta)	1(hatta)
3b3	入って	1(hErtte)	1(hette)	1(hette)	1(hette)	1(haitte)	1(hatte)
	入るな	1(hEruna,<m>-Nna)	1(heruna)	1(heruna)	1(hena,heruna)	1(hairuna)	1(hana,haruna)
	入らない	3,1.(hEranE),3(OK) (<m>-hENnE)	3,1.(herane). 1と3で意味差あり.	3(herane)	2(hene),3(herane)	4(hairanai)	2(hane)(OK)
	入れ	1(hEre)	1(here)	1(here)	2(hese);1(here)(OK)	3(haire)	2(hare)(OK)